

研究成果報告会2014年1月28日

タイの政治経済情勢と 農業・農政動向

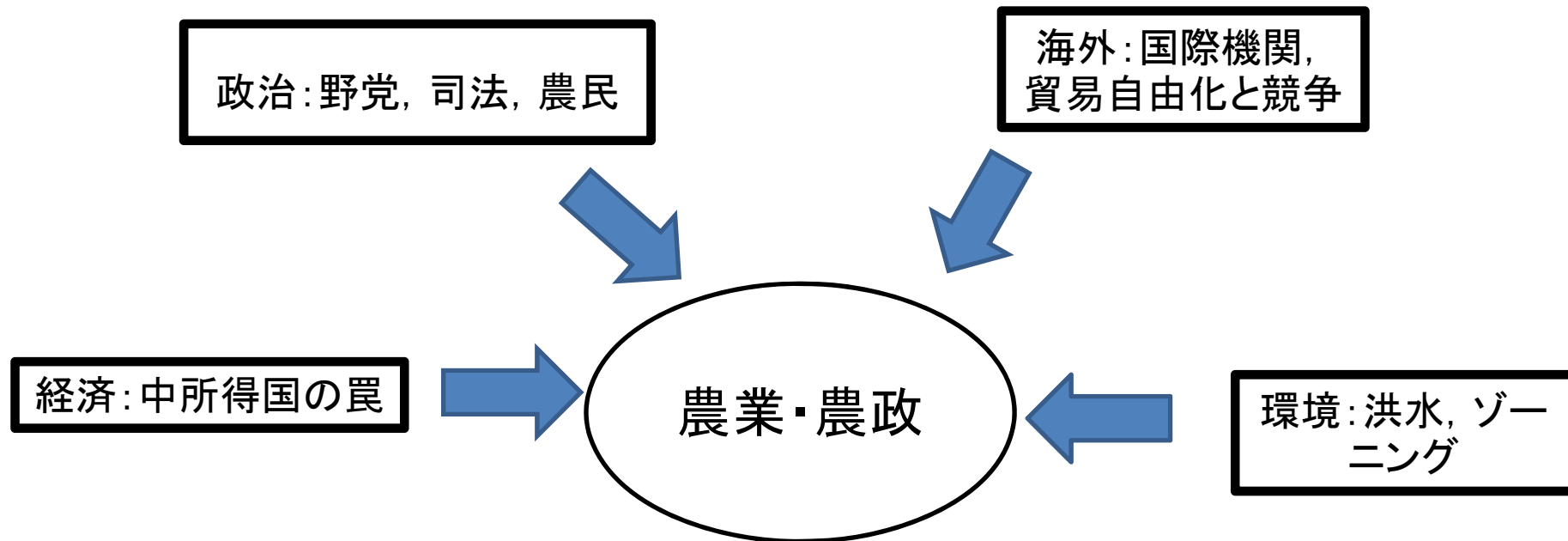
—コメ担保融資制度を中心に—

主要国の農業戦略に関する研究（プロジェクト研究）

農林水産政策研究所
国際領域 井上荘太郎

- 1 はじめに
- 2 政治経済情勢
- 3 コメ担保融資制度の分析
 - 3.1 制度の背景
 - 3.2 制度の概要
 - 3.3 制度の影響
 - 3.4 経済厚生分析
 - 3.5 政治経済学的解釈
 - 3.6 担保融資制度を巡るその他の課題
 - 3.7 担保融資制度を巡る最近の情勢
- 4 まとめ 展望と含意

はじめに:タイ農政を巡る情勢



はじめに:タイ農政を巡る情勢



政治:政治グループの対立の中で農業保護が急拡大

農民デモの影響(コメ, 他品目)

司法による介入

経済:成長政策と分配政策

300バーツ最低賃金

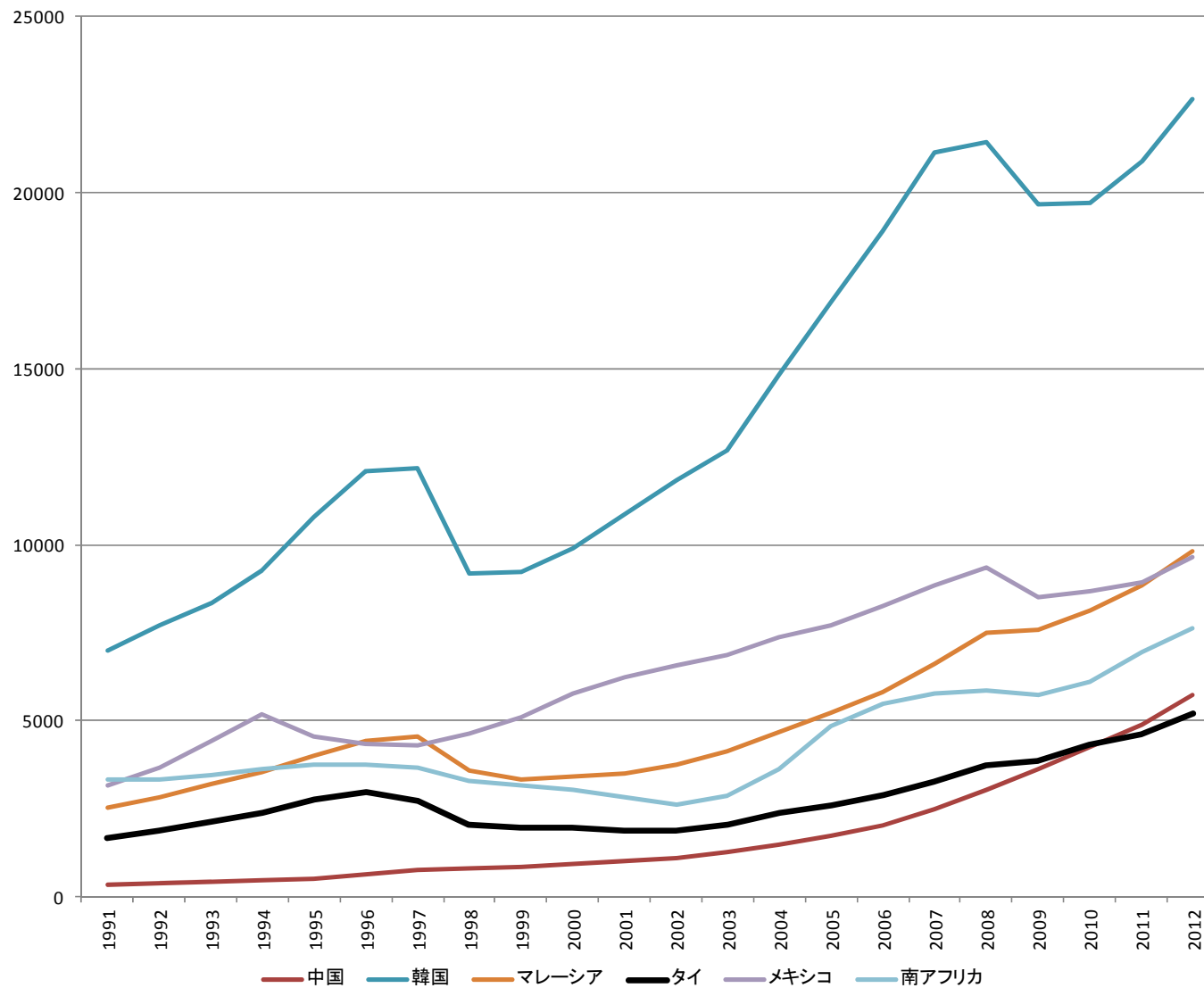
粳米15000バーツ/トン価格支持

財政負担

海外:WTO協定, IMF, ADB, ムーディーズ, 中国

環境:洪水の影響, ゾーニング政策の可能性

1人当たり国民所得(USドル, 名目)



タイの基本情報

人口 6952万人(2011年)
GDP 3697億ドル 農林水産業は11.7%
1人当たりGDP 5318ドル 上位中所得国

国土利用

総面積 51万3100平方km
農用地 21万600平方km

農業生産: コメ, サトウキビ, キャッサバ, オイルパーム, トウモロコシ等が多い
コメ(もみ) 3558万トン (雨季作 2544万トン, 乾季作 1014万トン)

貿易総額 6兆8826億4200万バーツ 農産物は1兆4477億1600万バーツ

主な輸出農産物: 天然ゴム, コメ, 砂糖, 水産物, 果物, キャッサバ, 鶏肉, 野菜
主な農産物輸出先: 中国, 日本, アメリカ, マレーシア, インドネシア

2. 政治経済情勢

ワクチン派と反ワクシン派の対立の激化

タイ経済の動向

タクシン派と反タクシン派の対立拡大

1990年代 タイ政治の民主化と首相権力強化

2001年 タクシン政権

2006年 クーデター

2007年 総選挙タクシン派勝利

2008年 タクシン派サマック首相資格喪失

タクシン派選挙違反で解党

アピシット民主党政権

2009年 タクシン派UDDによる政府攻撃拡大

2010年 タクシン派デモを政府が強制排除

2011年 総選挙タクシン派プアタイ党勝利 インラック政権

大洪水

2012年 反タクシン派による政府攻撃拡大

2013年 恩赦法反対活動拡大し首相退陣要求へ

下院解散

近年の経済動向

(インラック政権発足後の主要指標の動き)

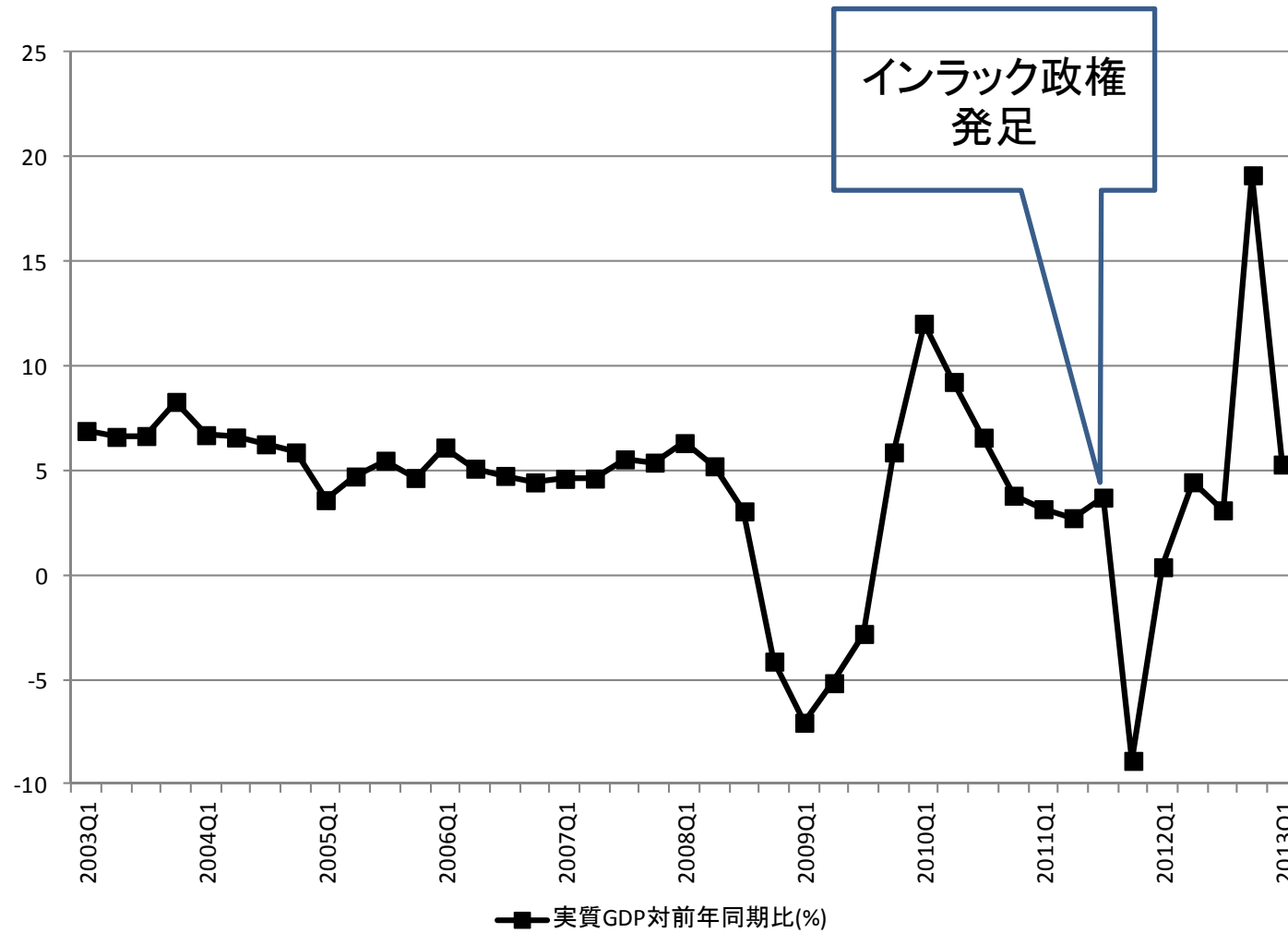


1. GDP: 実質年率5%程度で成長
2. 貿易: 輸出は2011年後半から減速するものの回復(洪水)
3. 為替: 29バーツ/USDドル→32バーツ程度に低下(2013年)
4. 物価: CPIは年率2-3%程度で上昇
5. 金利: 2011年以降, 緩和傾向
6. 政府債務: 2011年以降債務増加傾向強まる

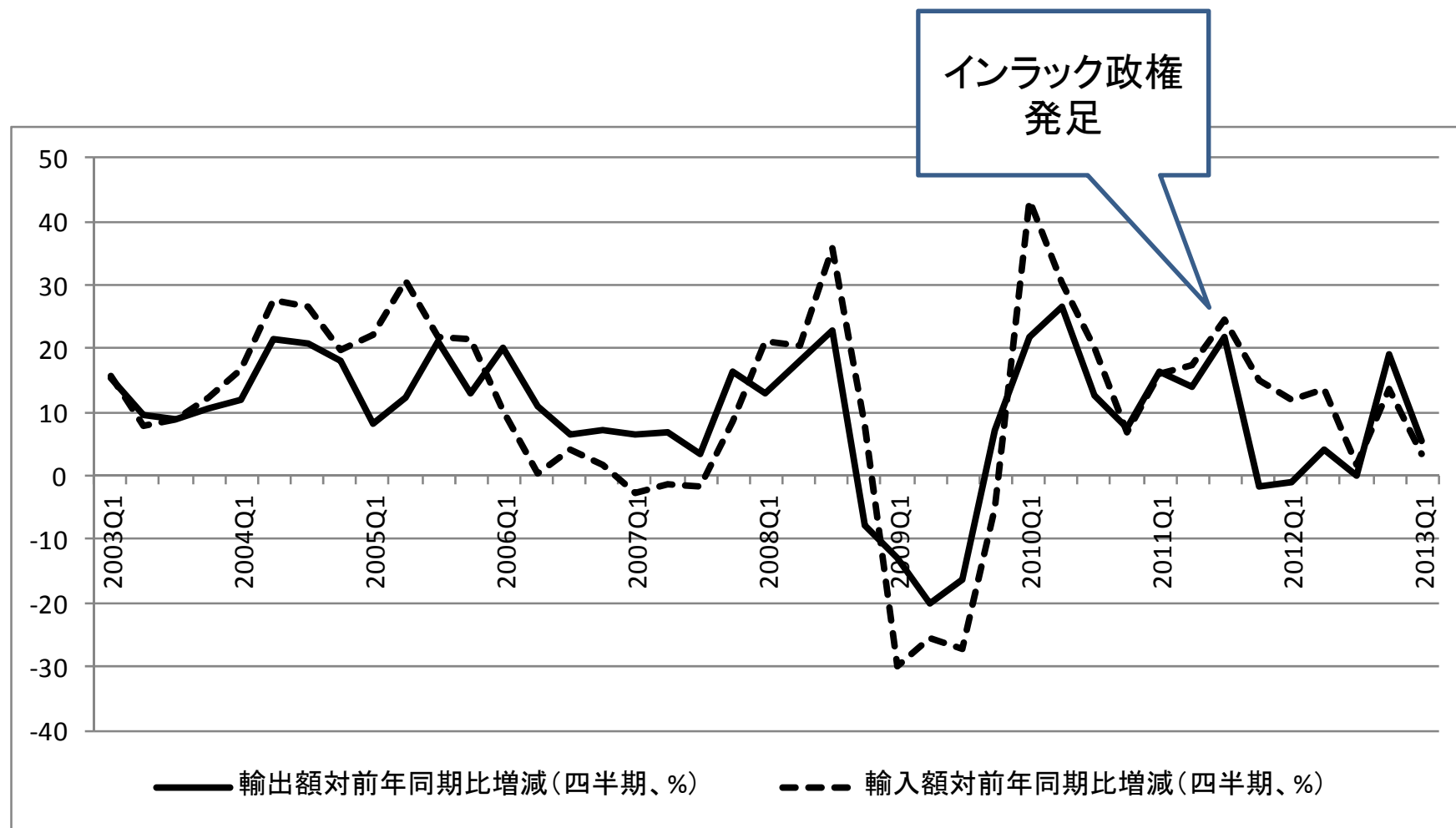
小括:

主要指標は現在は安定的。2008年の世界金融危機の際、タイケムケンと名付けられた大規模な経済対策がとられた。2011年には洪水の影響で変動。2011年発足のインラック政権も、拡張的な経済政策を採用しており、政府債務は増大傾向が加速している。

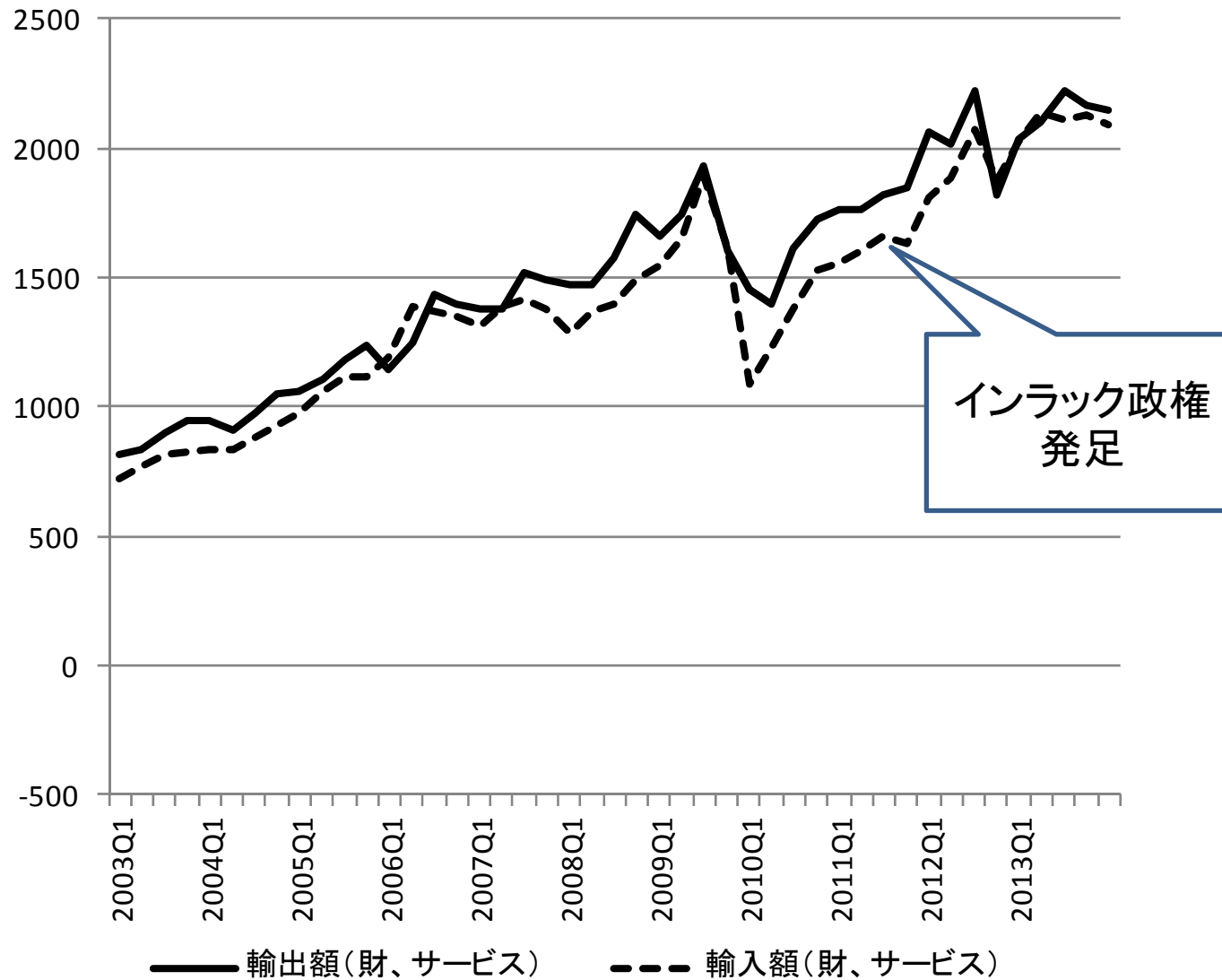
国内総生産の動向



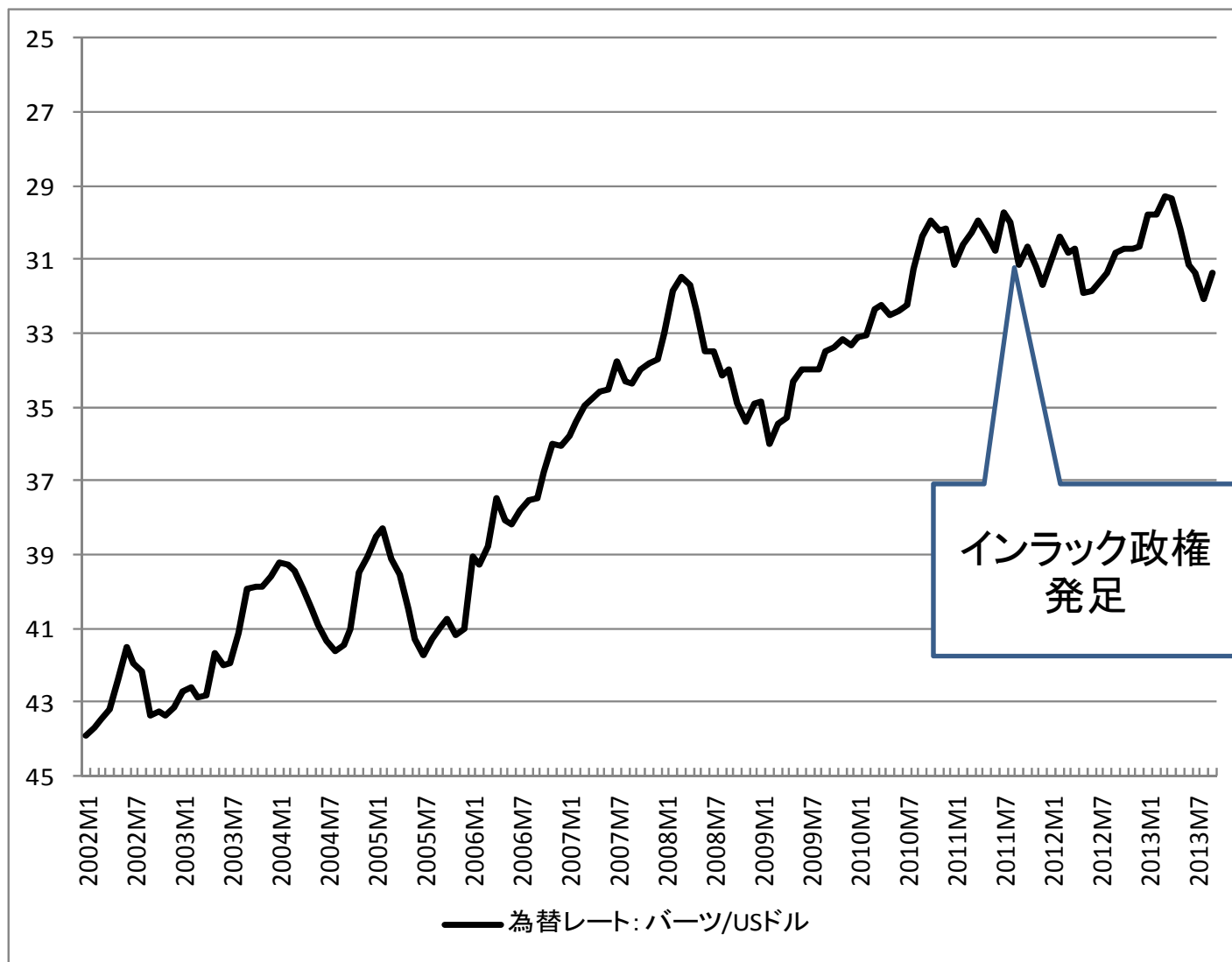
タイの輸出動向



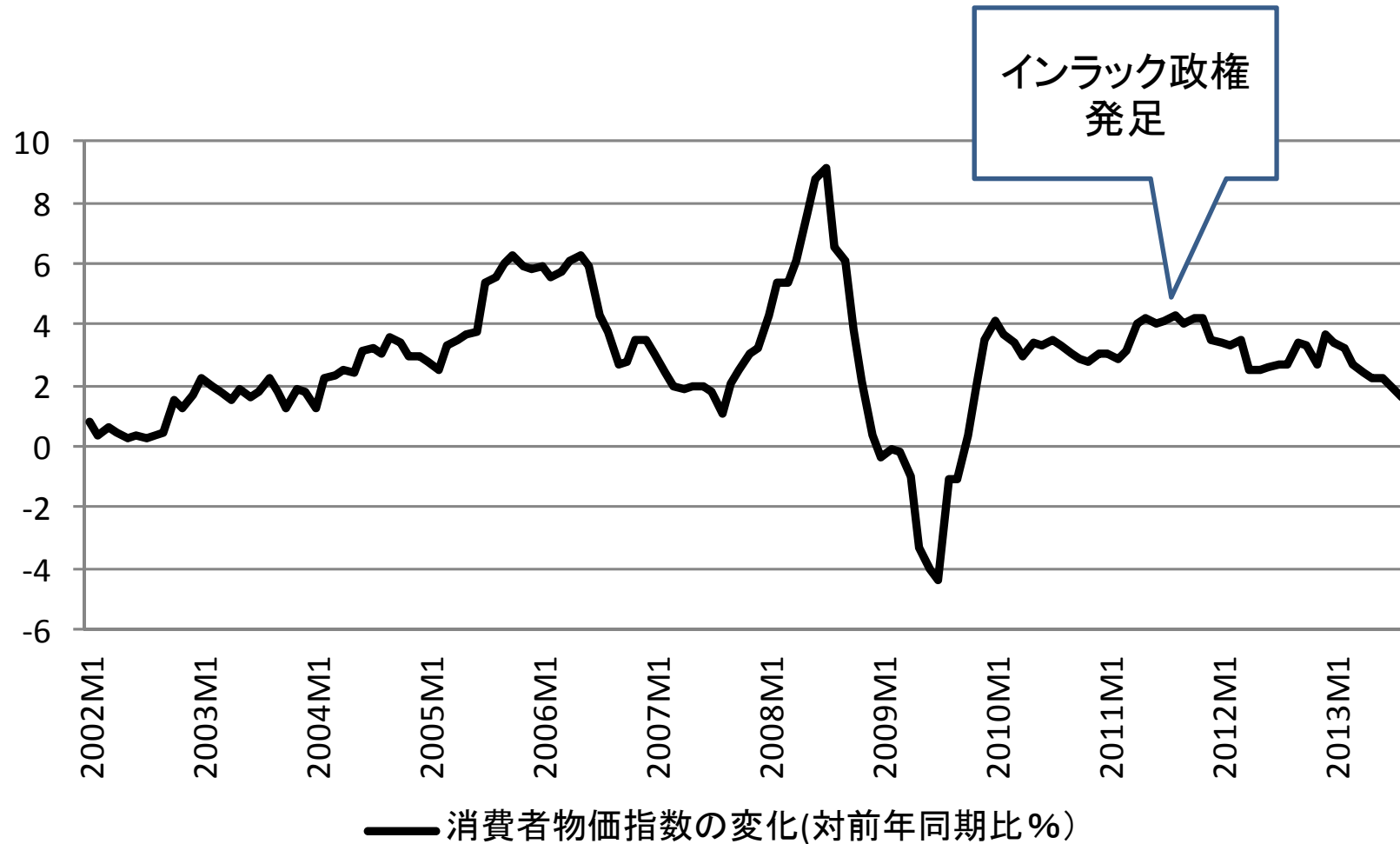
タイの輸出入動向



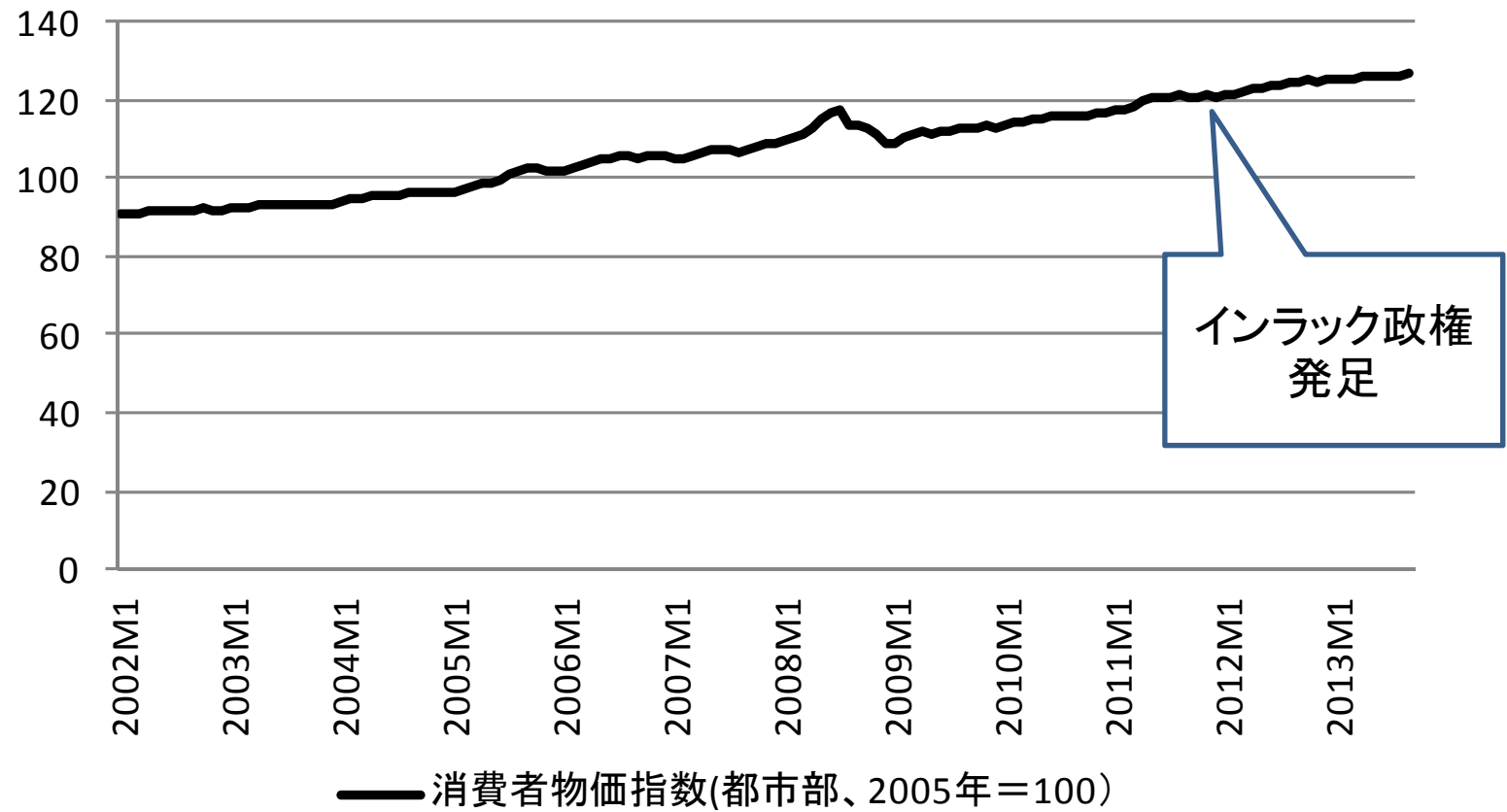
為替動向 バーツドル



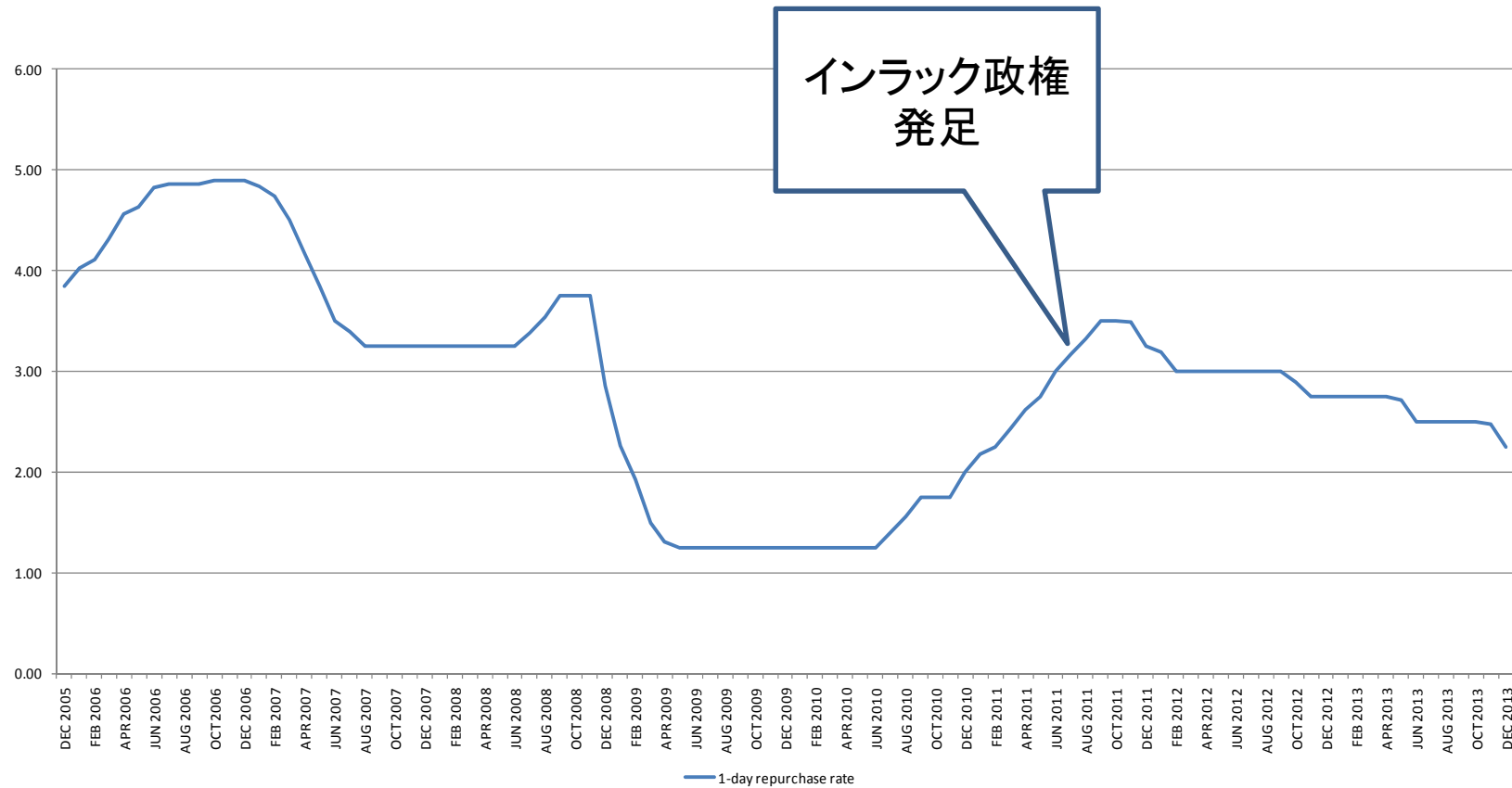
物価動向



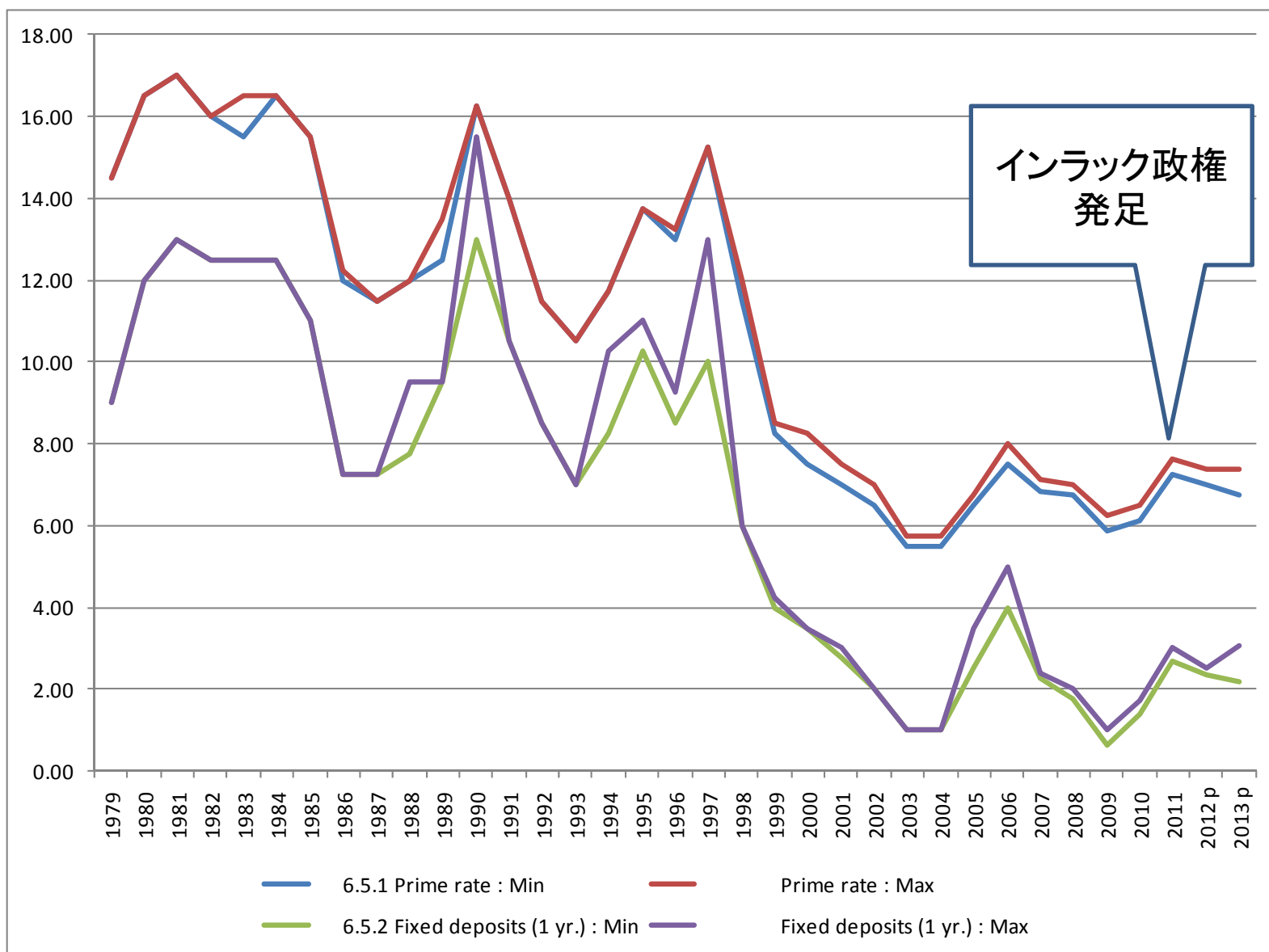
物価動向



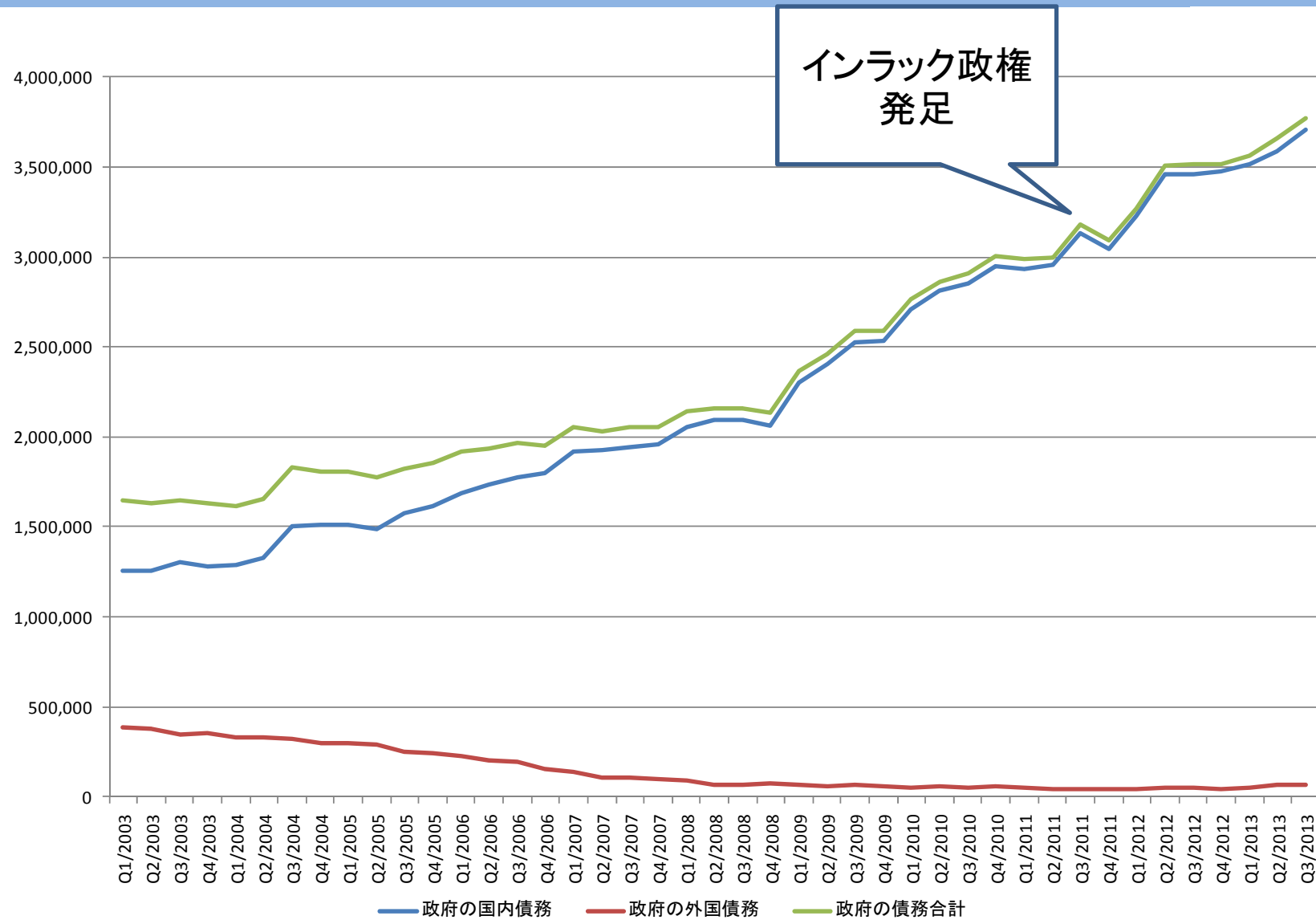
政策金利（短期(1日)）（年率，%）



タイの金利動向



政府債務残高(パーツ)



3 農業政策：コメ担保融資制度の分析

3.1 制度の背景：

プアタイ選挙公約(2011年)：最賃値上，担保融資制度復活等
コメ政策の展開(タクシン政権以降，農業保護傾向高まる)

3.2 制度の概要

制度の仕組み：実質的には政府が高価格で買入し，コメ流通に直接介入
農家→精米業者→中央倉庫機構→政府→競売
コメの流通経路：担保融資制度利用と民間流通の2経路
融資価格と実績：ホムマリ米20000B/t，うるち米15000B/t
全体で約6割の契約率。乾季作の契約率が高い。

3.3 制度の影響

国内の生産，価格：2011/12年，2012/13年，2013/14年と生産増大
2014年乾季作は減少か？
輸出：輸出価格の上昇，輸出量の減少

3.4 経済厚生分析

3.5 政治経済学的解釈

3.6 担保融資制度を巡るその他の課題

3.7 担保融資制度を巡る最近の情勢

3. 1 制度の背景 プアタイ党の主な選挙公約(2011年総選挙)



1 .	全国一律の日額300バーツの最低賃金の保証
2 .	全国一律の1回30バーツの医療制度
3 .	農民へのクレジットカード支給, 米の担保融資制度 (粳1トン当たり, 15,000~20,000バーツの価格保証)。
4 .	教員, 農民, 公務員を対象とした, 500,000バーツまでの3年間の負債返済猶予
5 .	大学新卒者初任給の月額15,000バーツ保証
6 .	法人税30%の減税。初年度は23%に減税し, 2年目以降20%に減税する。
7 .	最初の住宅購入と自動車の購入に対する取得税免除。

(続き) プアタイ党の主な選挙公約(2011年総選挙)



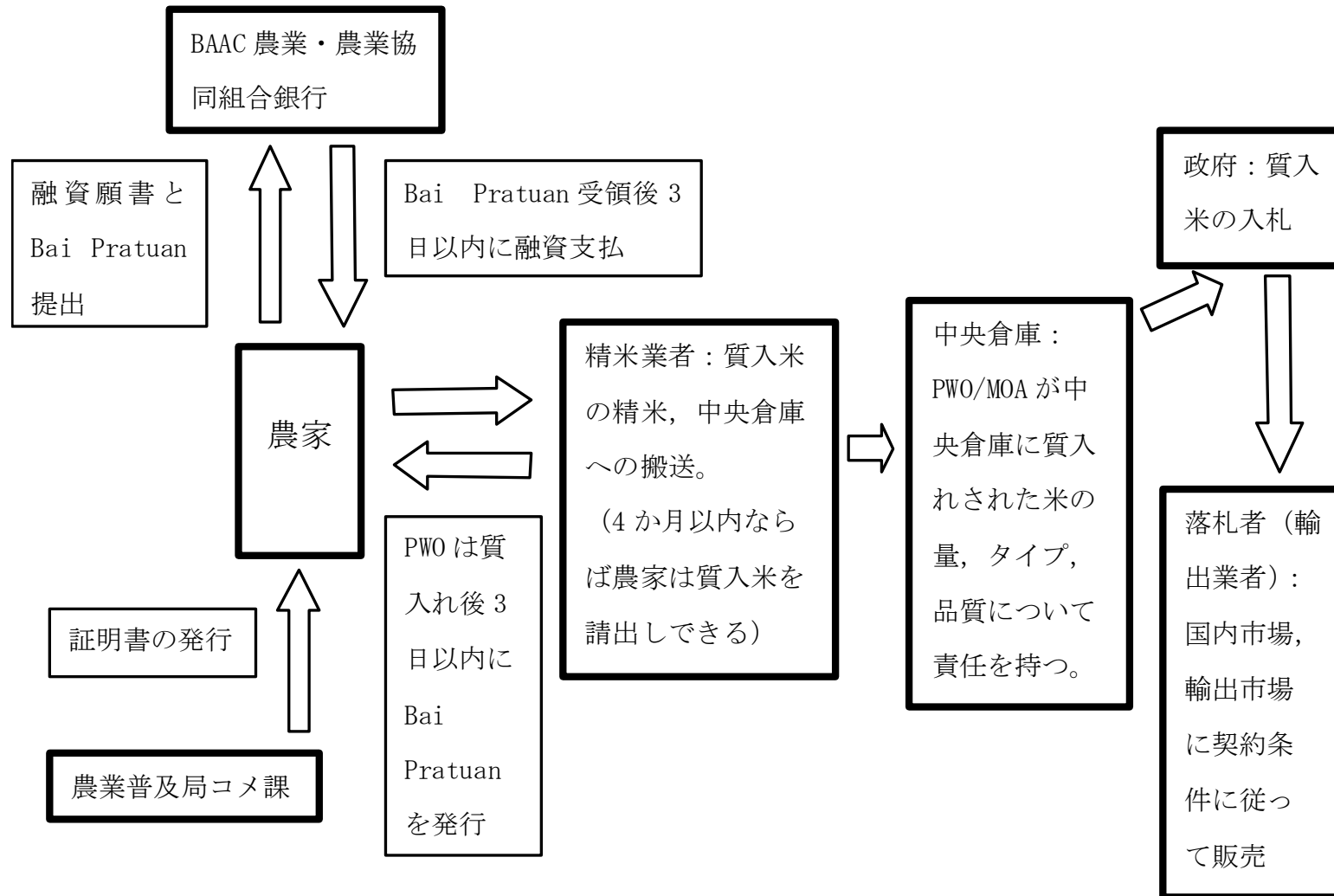
8	バンコクの10の全ての公共鉄道運賃を一律20バーツにする
9	北部, 東北部, 東部, 南部の北部地域の主要都市を結ぶ高速鉄道
10	年間30万バーツから100万バーツの村落開発基金
11	高齢者給付金の増額
12	公共施設における無料のWi-Fiとインターネット接続及び、子供1人に1つのタブレットPC配給プロジェクト
13	バンコク保護のために30kmの洪水対策堤防, 高潮被害に備える衛星都市の建設
14	南部のイスラム教徒の多い地方への特別な行政的地位の付与
15	不正薬物一掃キャンペーン
16	政治犯への恩赦

3. 1 制度の背景:タイのコメ政策の変化とアクターへの影響

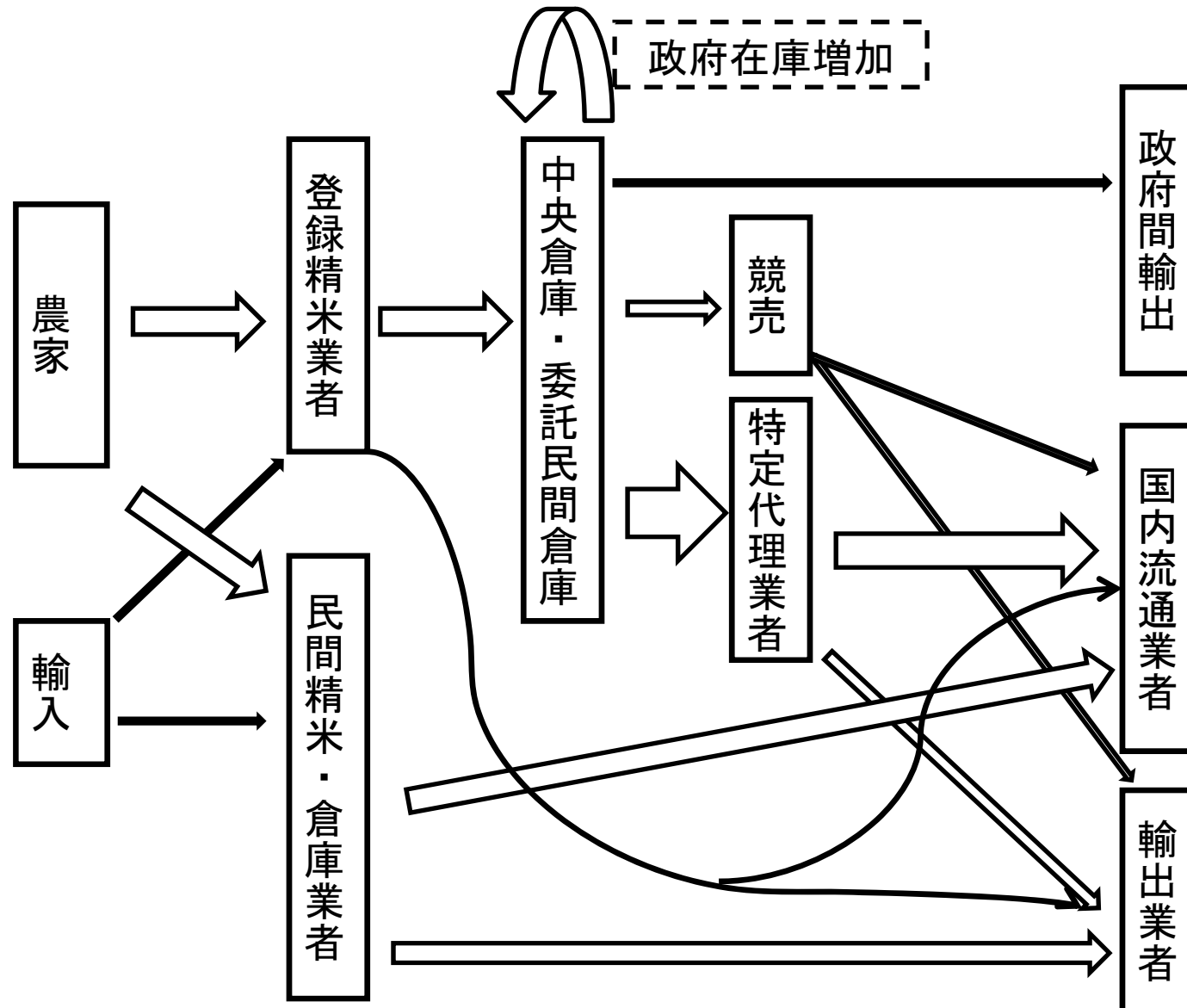


	農家	流通・加工業者	国内消費者	政府	コメ輸出	輸出業者
担保融資制度 (タクシン政権前)	利益小	利益小	負担なし 価格安定	負担小	影響小	影響小
担保融資制度 (タクシン政権(2001-06年)) (スラユット政権(2007-08年)) (サマック政権(2008-09年))	利益大 主に大規模層へ	一部の業者に利益大	負担あり 価格上昇	負担大	影響大 国際価格押下効果	影響小 政府米の払下げが一部業者に集中
農家所得保障制度 (アピシット政権(2009-11年))	利益大 主に小規模層へ	利益なし	負担なし	負担中	影響小	影響小
担保融資制度 (インラック政権 2011/12年, 2012/13年)	利益大 小規模層も参加しているが, 大規模層で利益大	利益あり 契約米の精米手数料, 保管料がコメで支払われる	負担あり 国内価格上昇	負担大 不透明で巨額の政府損失	影響大 タイ米輸出価格の上昇と輸出量の急減	影響大 政府米が特定業者へ アフリカや近隣諸国からのコメ輸出に進出
担保融資制度 (インラック政権 2013/14年)	利益大 大規模層の利益に上限	利益あり 契約米の精米手数料, 保管料がコメで支払われる 流通システムの混乱	負担あり 国内価格低下へ	負担大 政府損失を一部公表 資金調達困難化	影響大 タイ米輸出価格の低下と輸出量の増加	影響大 政府米の競売拡大 中国への輸出?

3. 2 制度の概要: コメ担保融資制度の仕組み



3. 2 制度の概要： コメの流通経路



3. 2 制度の概要： 担保融資価格

	2012/13年	2013年/14年	
	雨季作+乾季作	雨季作	乾季作
	2012年10月1日- 2013年9月15日	2013年10月1日- 2014年2月28日	2014年3月1日- 2014年9月30日
融資価格 (バーツ/トン)			
香り米			
ホムマリ香り米	20,000	20,000	-
県産香り米	18,000	18,000	-
パテウンタニ香り米	16,000	16,000	16,000
もち米			
長粒種	16,000	16,000	16,000
短粒種	15,000	15,000	15,000
普通米			
100%	15,000	15,000	13,000
5%	14,800	14,800	12,800
10%	14,600	14,600	12,600
15%	14,200	14,200	12,200
20%	13,800	13,800	11,800
契約上限量	上限なし	35万バーツ/世帯	30万バーツ/世帯

原資料：商業省

資料：Table3, Thailand Grain and Feed Update Rice Update, USDA GAIN
Report Number: TH3111

3.2 制度の概要： 担保融資制度の契約実績

	農家数 (100万戸)	契約米量 (粳, 100万トン)						総額 (10億バーツ)	総生産量 (粳, 100万ト ン)	契約米の 割合 (%)
		香り米			白米	もち米	合計			
		ホムマリ 香り米	県産香り米	パトゥンタニ 香り米						
2011/12年	2.7	3.1	0.3	0.2	17.5	0.7	21.7*	337.2	38.1	57.0
雨季作 ⁽¹⁾	1.3	3.1	0.3	0.0	3.1	0.4	6.9	118.6	25.9	26.7
乾季作 ⁽²⁾	1.4			0.2	14.4	0.3	14.8*	218.7	12.2	121.1
2012/13年 ⁽³⁾	2.8	3.4	0.5	0.1	17.6	0.9	22.5	345.3	36.9	61.1
雨季作 ⁽⁴⁾	1.8	3.4	0.5	0.0	9.7	0.7	14.3	219.7	27.0	53.1
乾季作 ⁽⁵⁾	1.0	0.0	0.0	0.1	7.8	0.3	8.1	125.6	9.9	81.8
総計		6.5	0.8	0.3	35.0	1.6	44.2	682.6	74.9	59.0
(精米換算)		4.3	0.5	0.2	23.1	1.1	29.2			
%シェア		14.7	1.8	0.6	79.2	3.7	100.0			

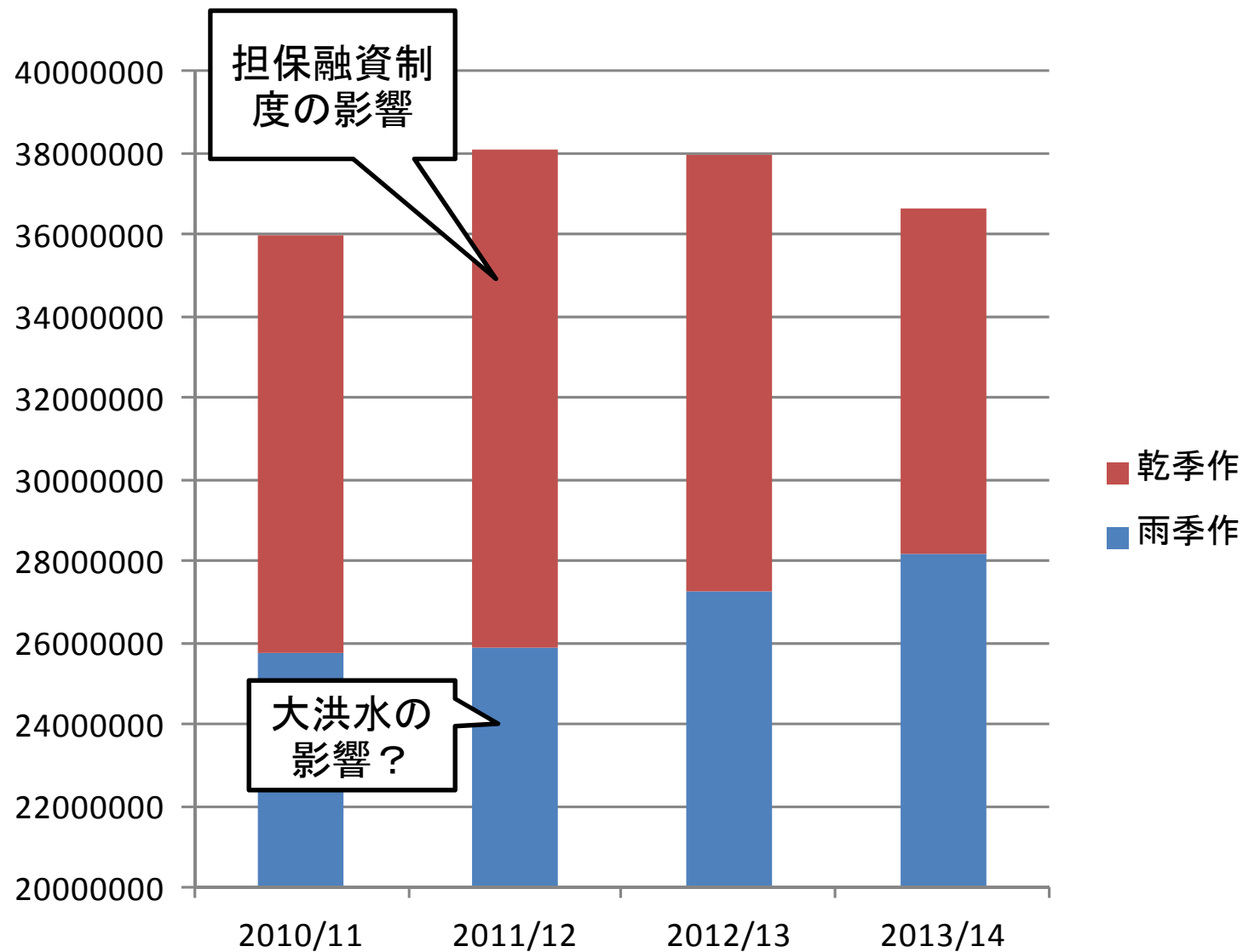
原注： (1) 2011年10月7日-2012年2月29日
 (2) 2012年3月1日-9月30日
 (3) 2012年10月1日-2013年9月15日
 (4) 2013年10月24日時点 (2012年10月1日-2013年3月31日)
 (5) 2013年10月24日時点 (2013年4月1日-2013年9月15日)

原資料：商業省，農業協同組合銀行

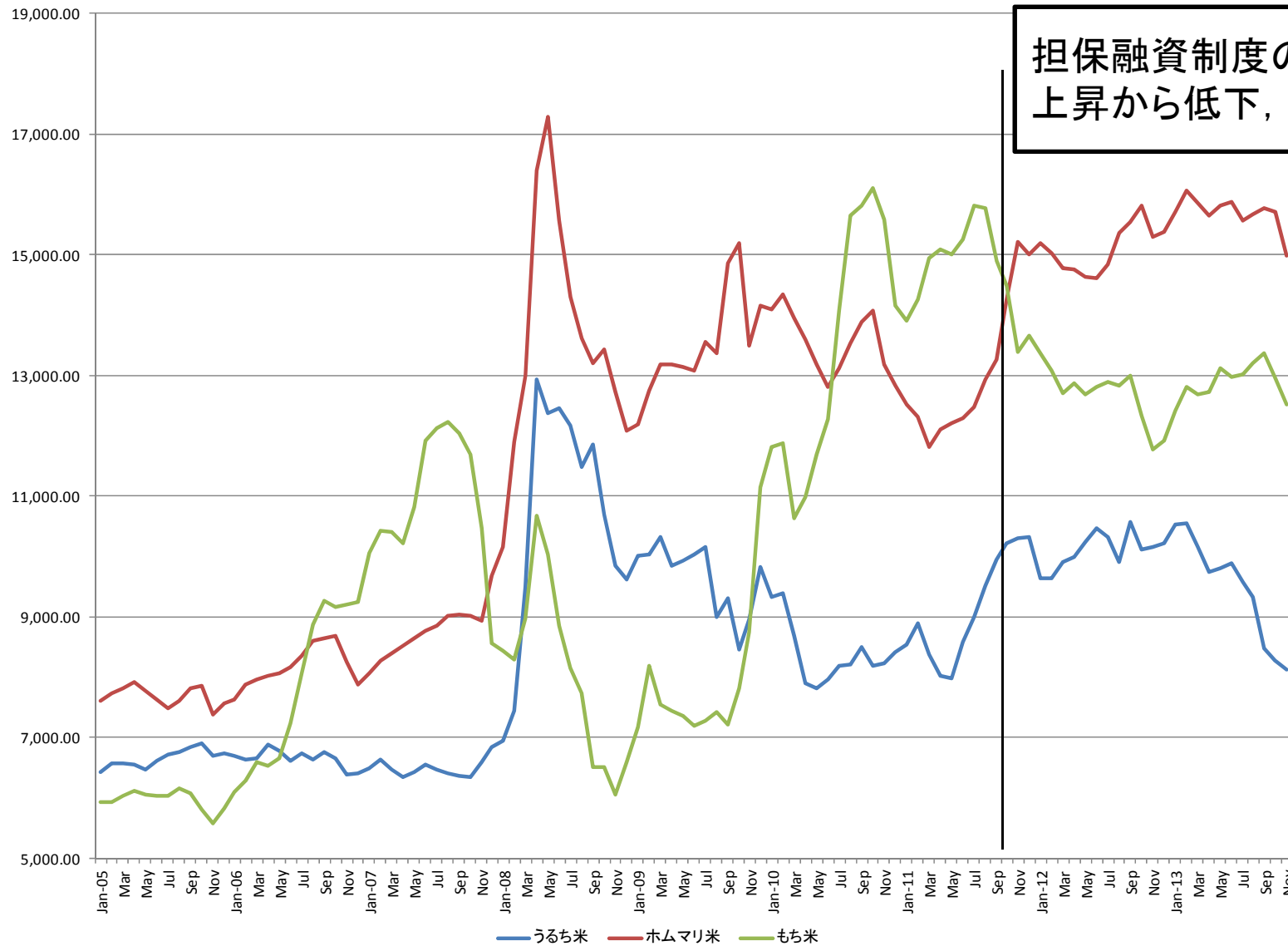
注 (1)：*印はラウンドのため，合計値が一致していない。

資料：Table2, Thailand Grain and Feed Update Rice Update, USDA GAIN Report Number: TH3111
 及び2012年農業基礎統計より筆者計算。

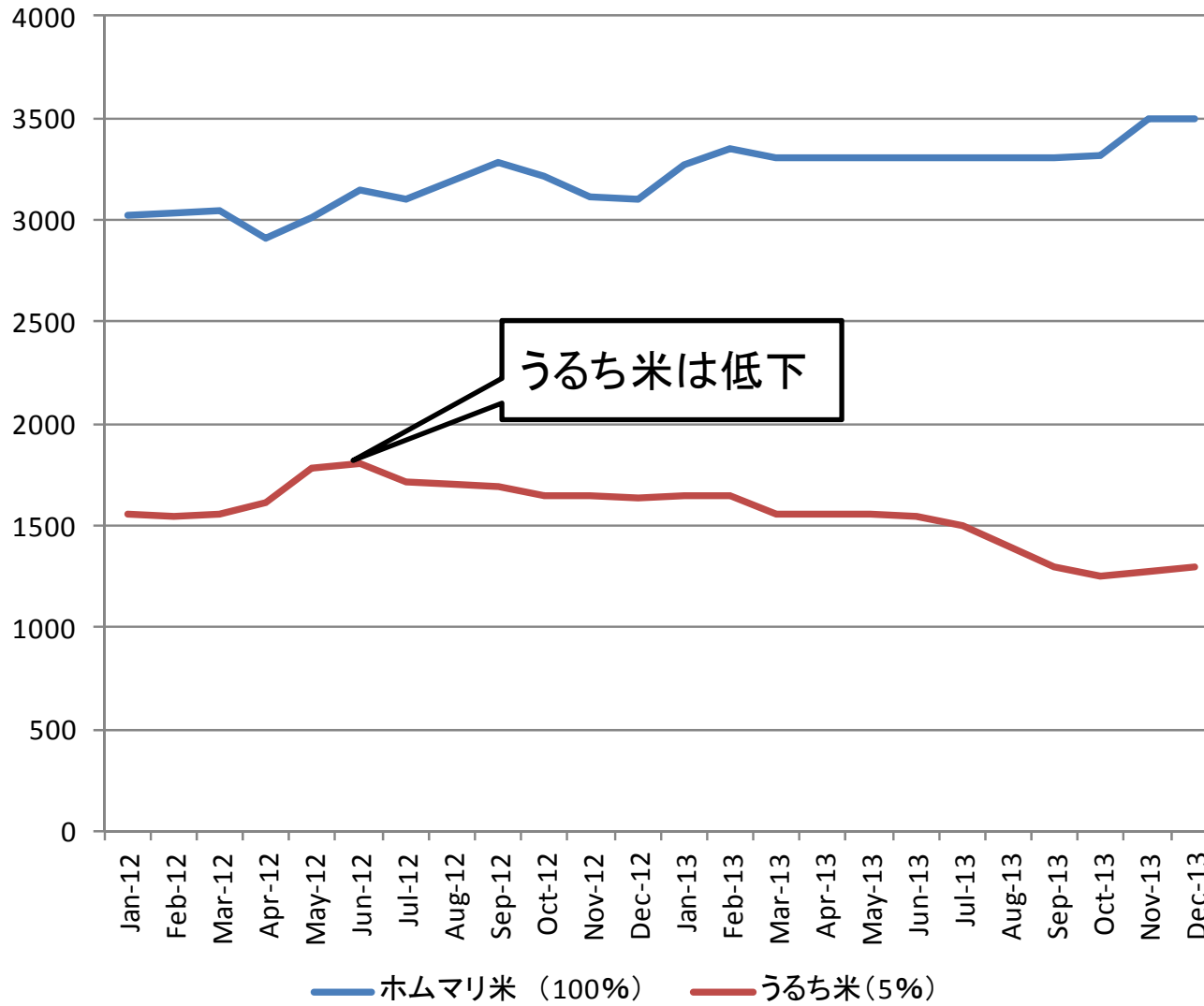
3.3 制度の影響： コメ生産量推移(トン)



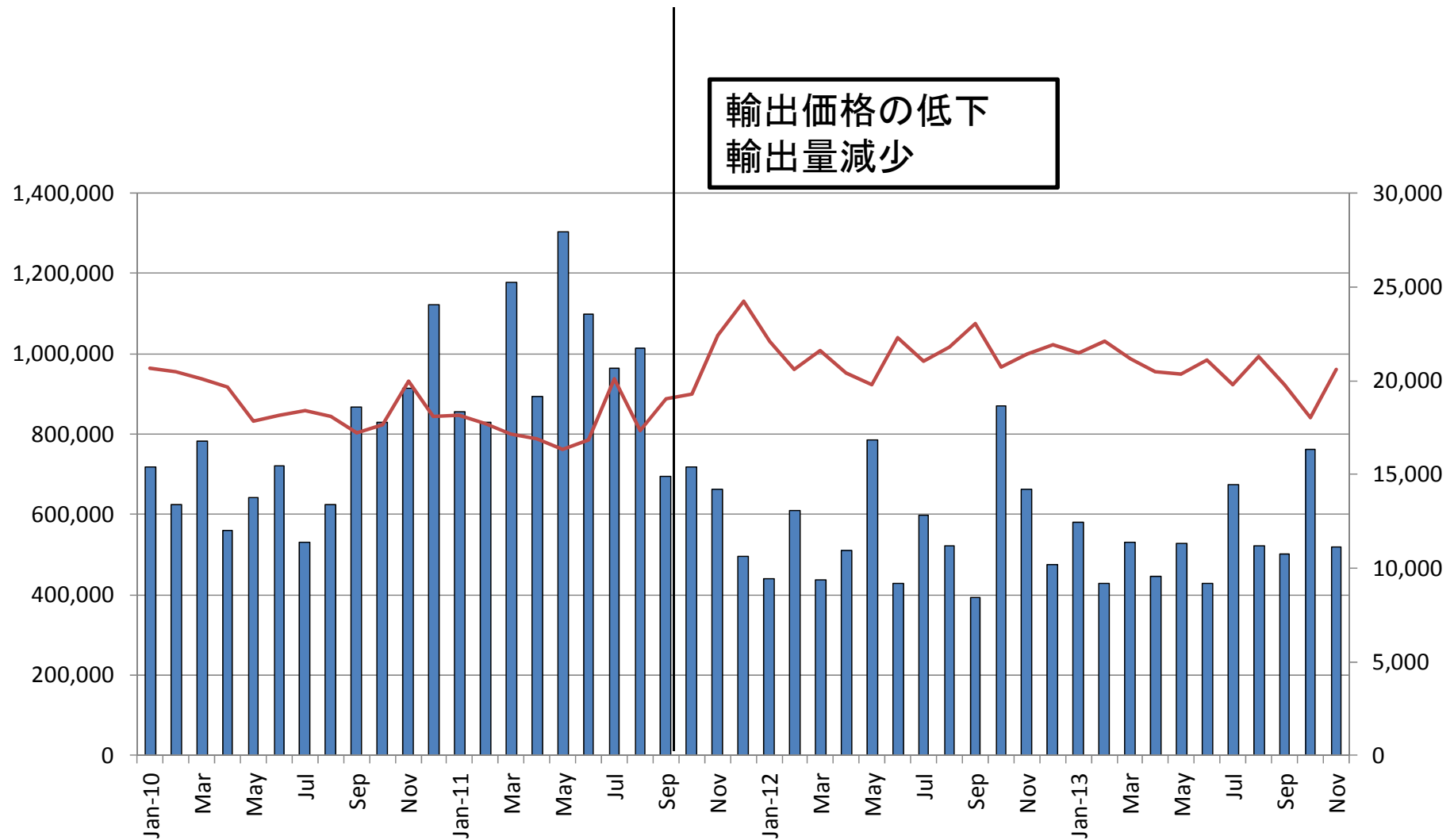
3. 3 制度の影響： コメ価格の推移（農家庭先，バーツ/トン）



3.3 制度の影響： コメの卸売価格（バンコク，パーツ/100kg）

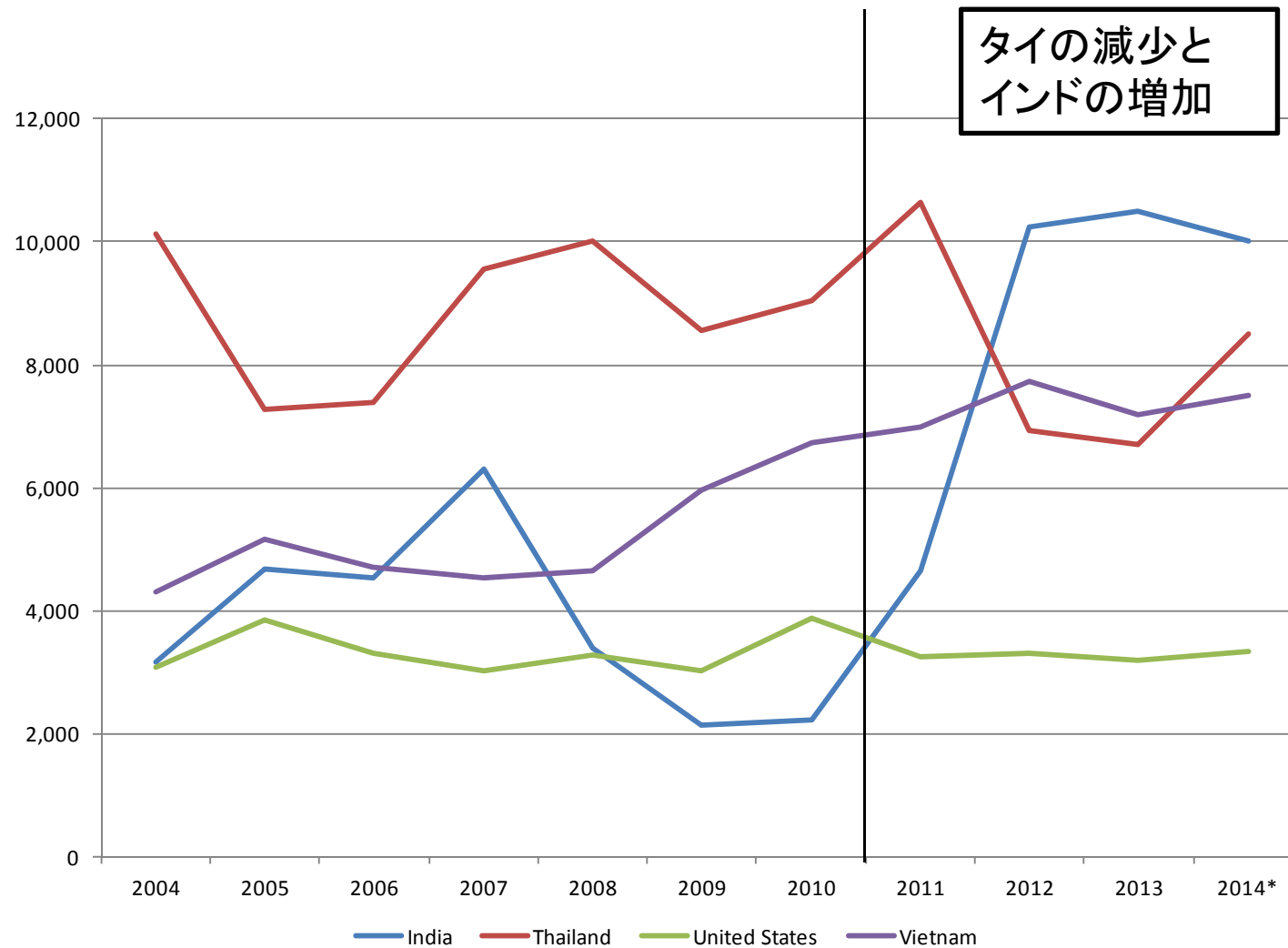


3.3 制度の影響： タイのコメ輸出量と輸出単価



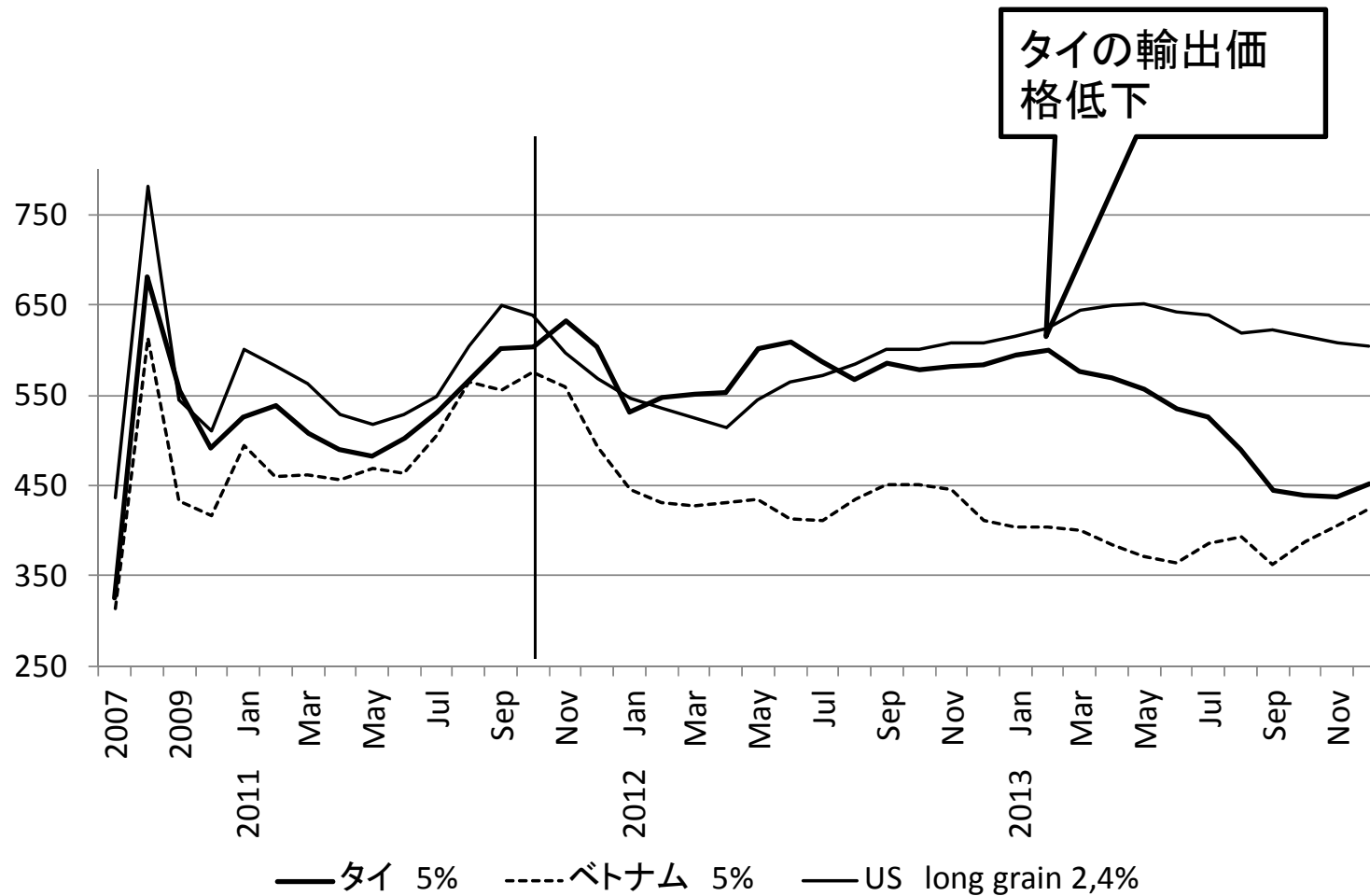
3.3 制度の影響:

主要輸出国のコメ輸出量(PSD, FAS/USDA, 千キロ精米)



3.3 制度の影響:

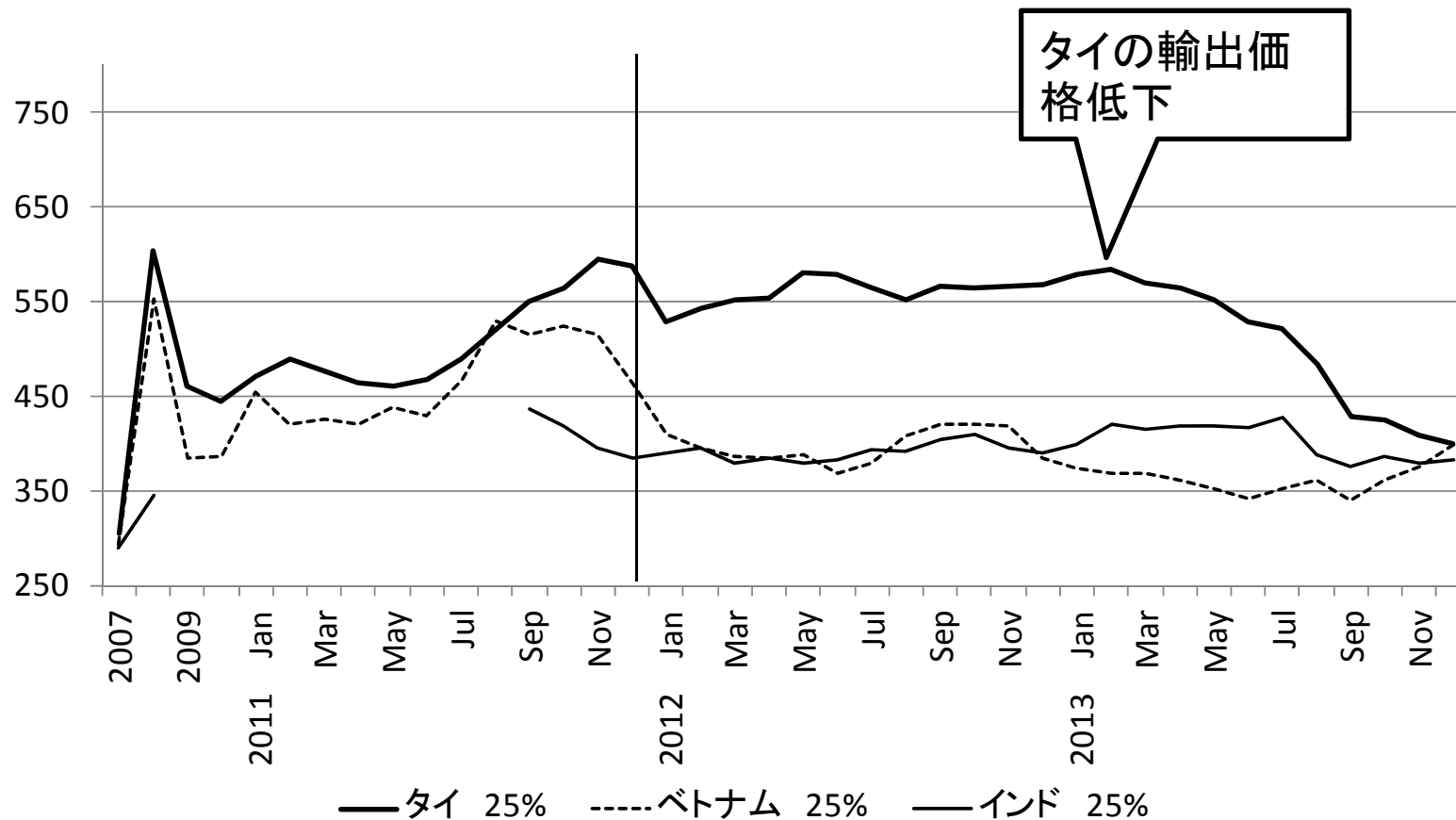
主要国のコメ輸出価格動向(上級米, 精米, USD/トン)



資料:FAO

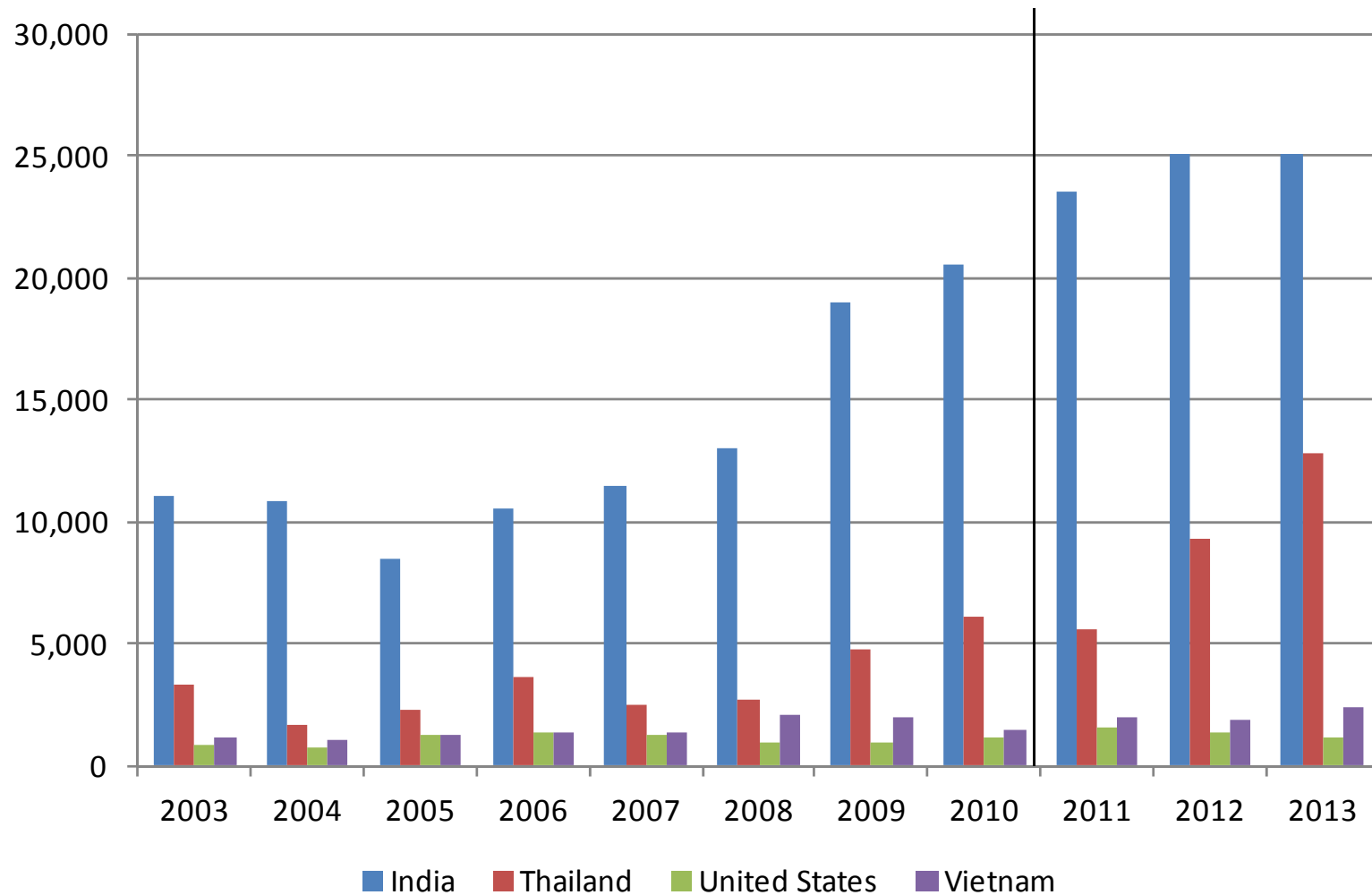
3.3 制度の影響:

主要国のコメ輸出価格動向(低級米, 精米, USD/トン)



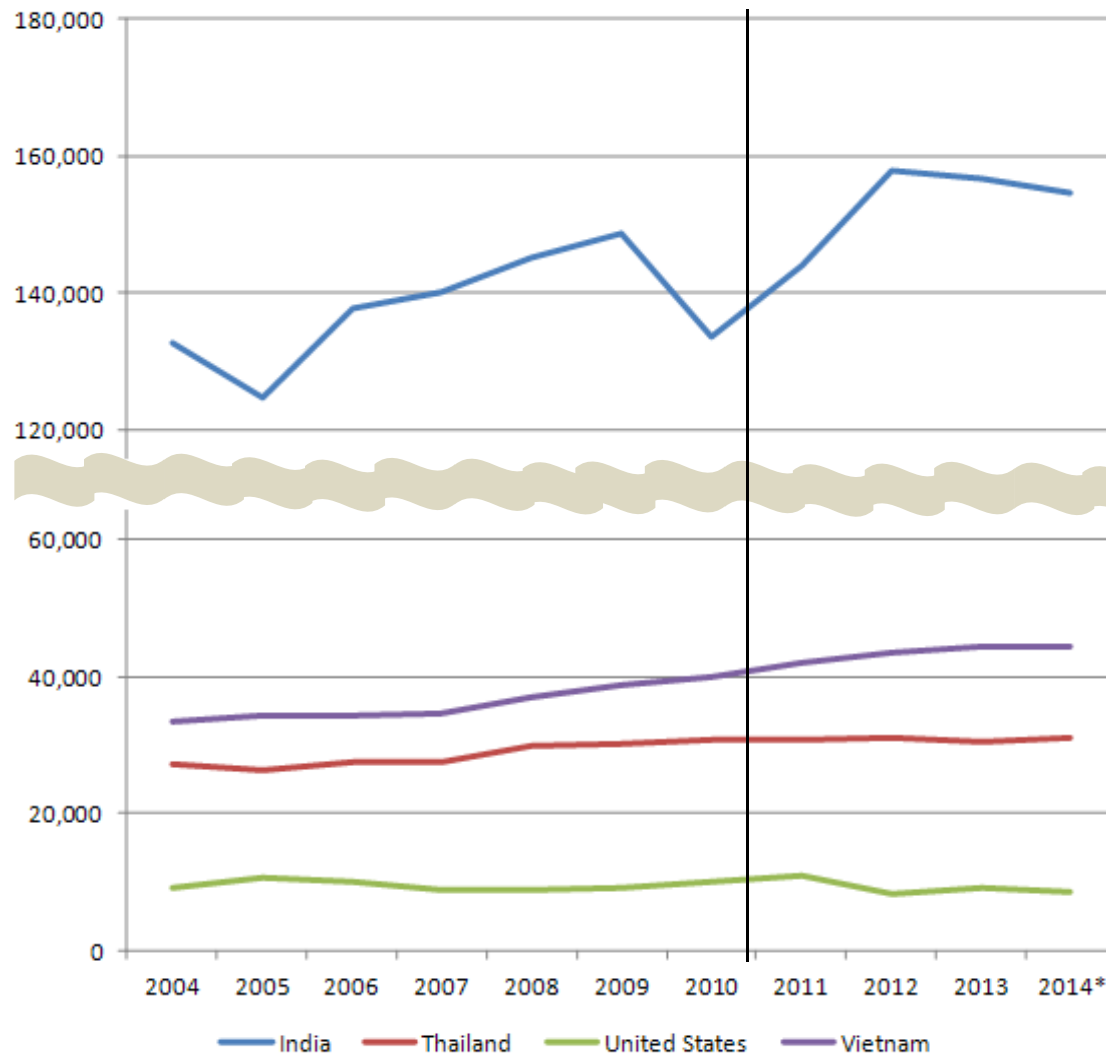
資料:FAO

3.3 制度の影響： 主要輸出国のコメ在庫量 (PSD, FAS/USDA, 千キロ精米)



注： 各年秋の在庫量

3.3 制度の影響： 主要輸出国のコメ生産量 (PSD, FAS/USDA, 千キロ 粳米)



3. 4 経済厚生分析



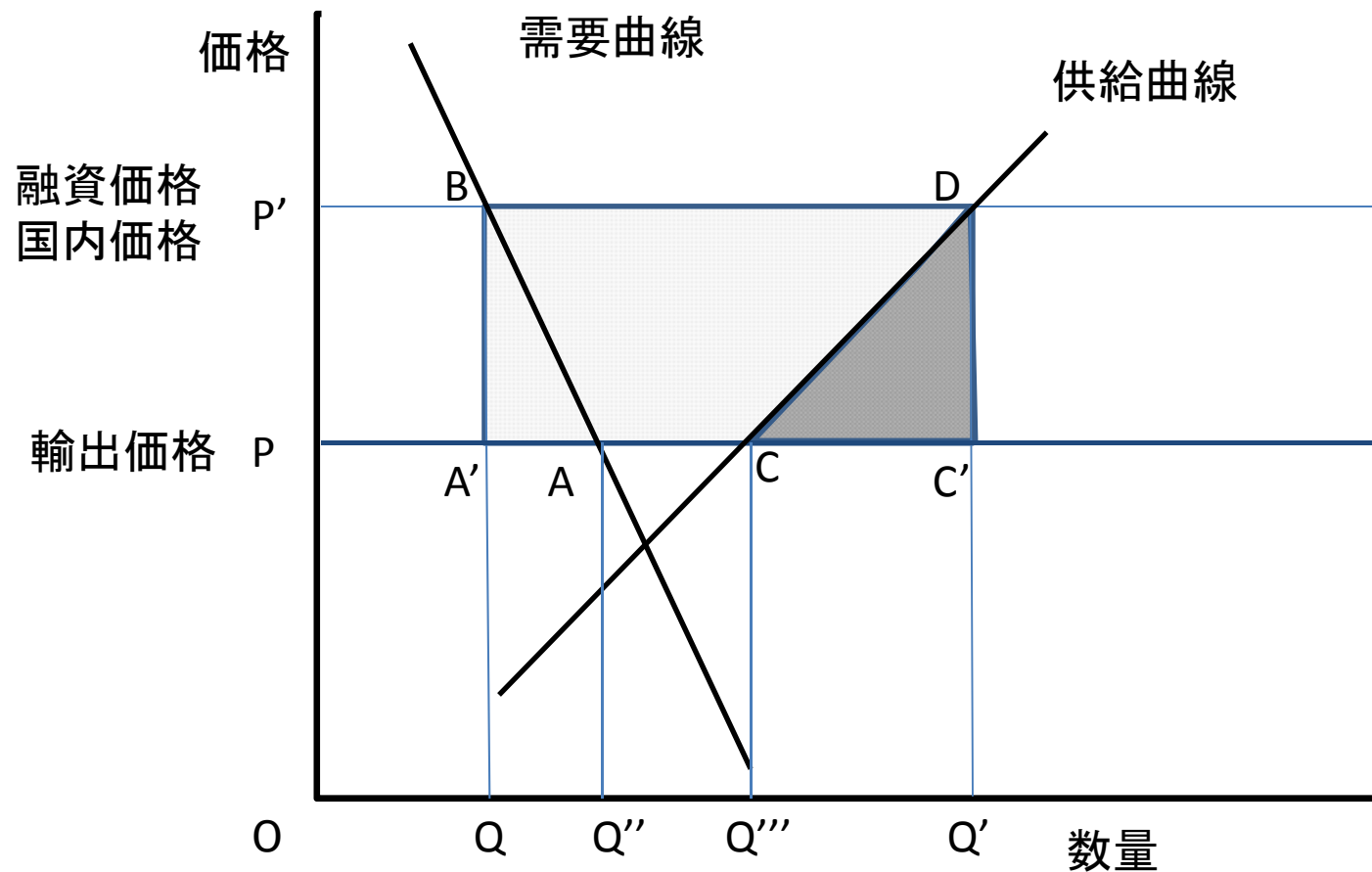
部分均衡分析による経済学的効率性の検討:

視点

少ない経済的損失で高い再配分効果

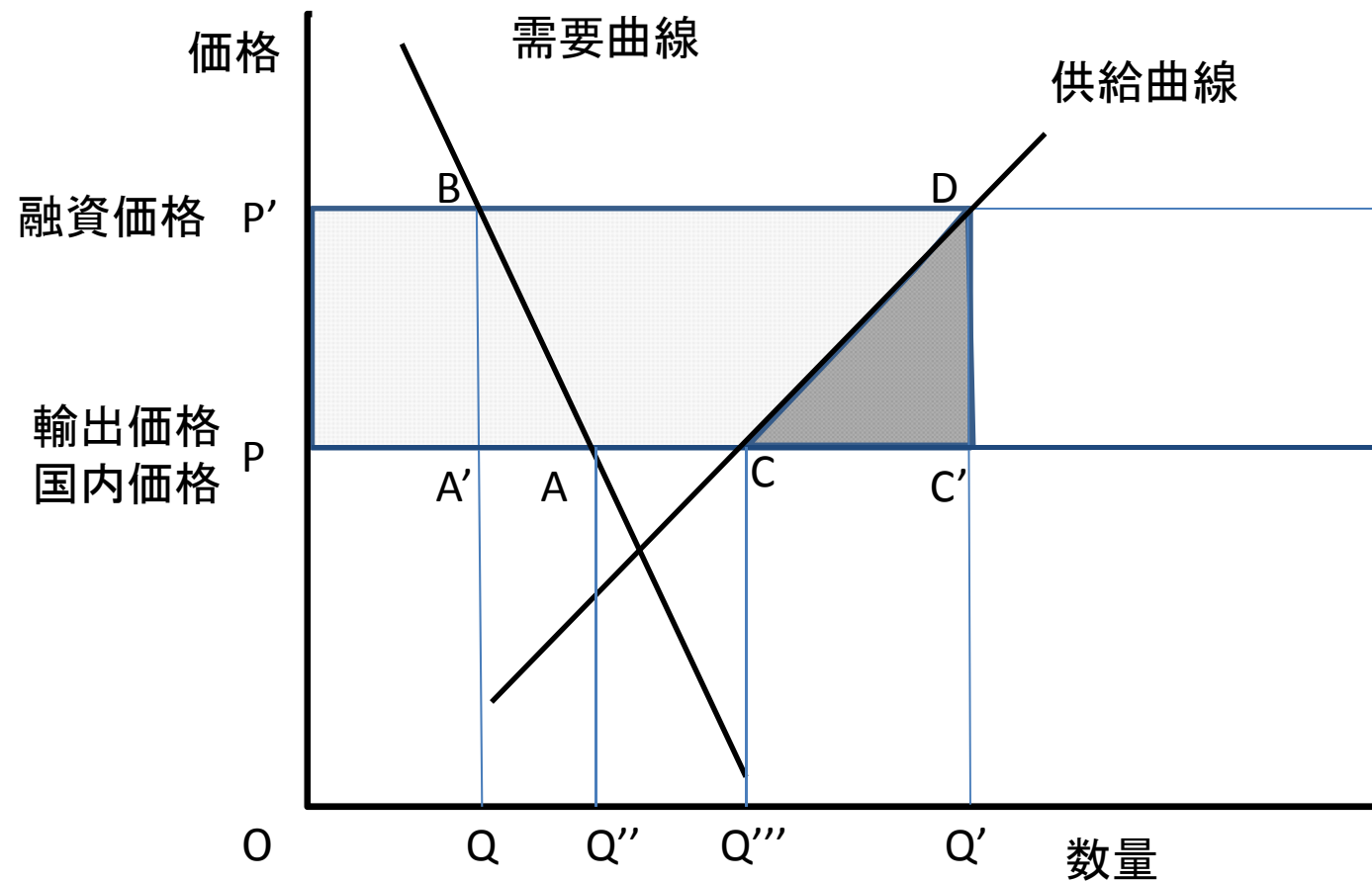
適切な生産刺激効果(タイのコメは必要ない)

Case1 消費者・財政負担型，輸出増加(大):



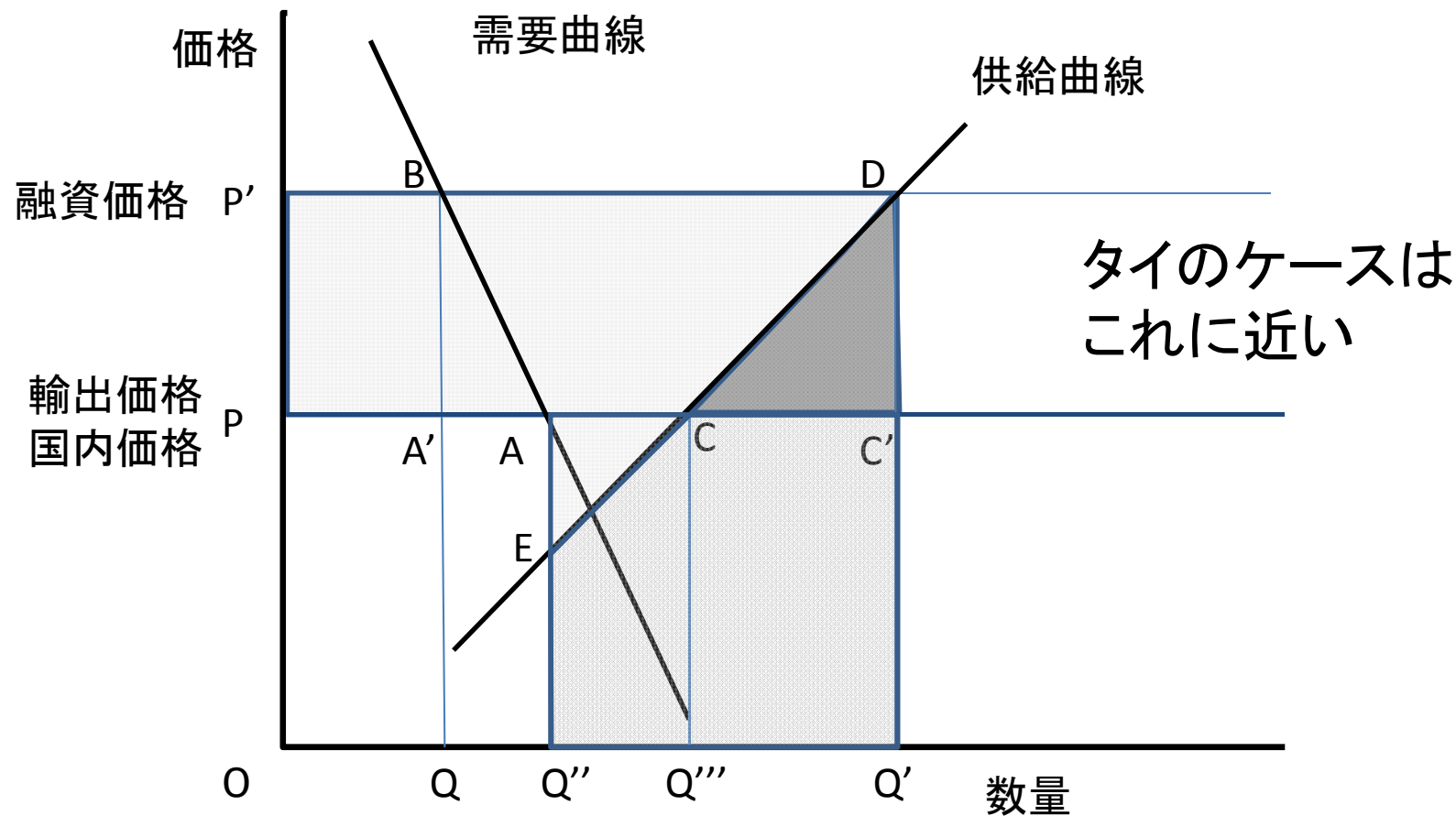
国内価格： $P \rightarrow P'$ ，輸出価格： P で不変，輸出量： $Q''Q''' \rightarrow QQ'$
 生産者余剰： $PP'DC$ 増加 消費者余剰： $PP'BA$ 減少
 買取支出： $OP'DQ'$ 国内販売収入： $OP'BQ$ 輸出収入： $QA'C'Q'$
 dead weight loss： $\triangle CDC'$

Case2 財政負担(中)型, 輸出増加(中):



国内価格: P で不変, 輸出価格: P で不変, 輸出量: $Q''Q''' \rightarrow Q''Q'$
 生産者余剰: $PP'DC$ 増加 消費者余剰: 不変
 買取支出: $OP'DQ'$ 国内販売収入: $OPAQ''$ 輸出収入: $Q''AC'Q'$
 dead weight loss: $\triangle CDC'$

Case3 財政負担(大)型, 輸出無



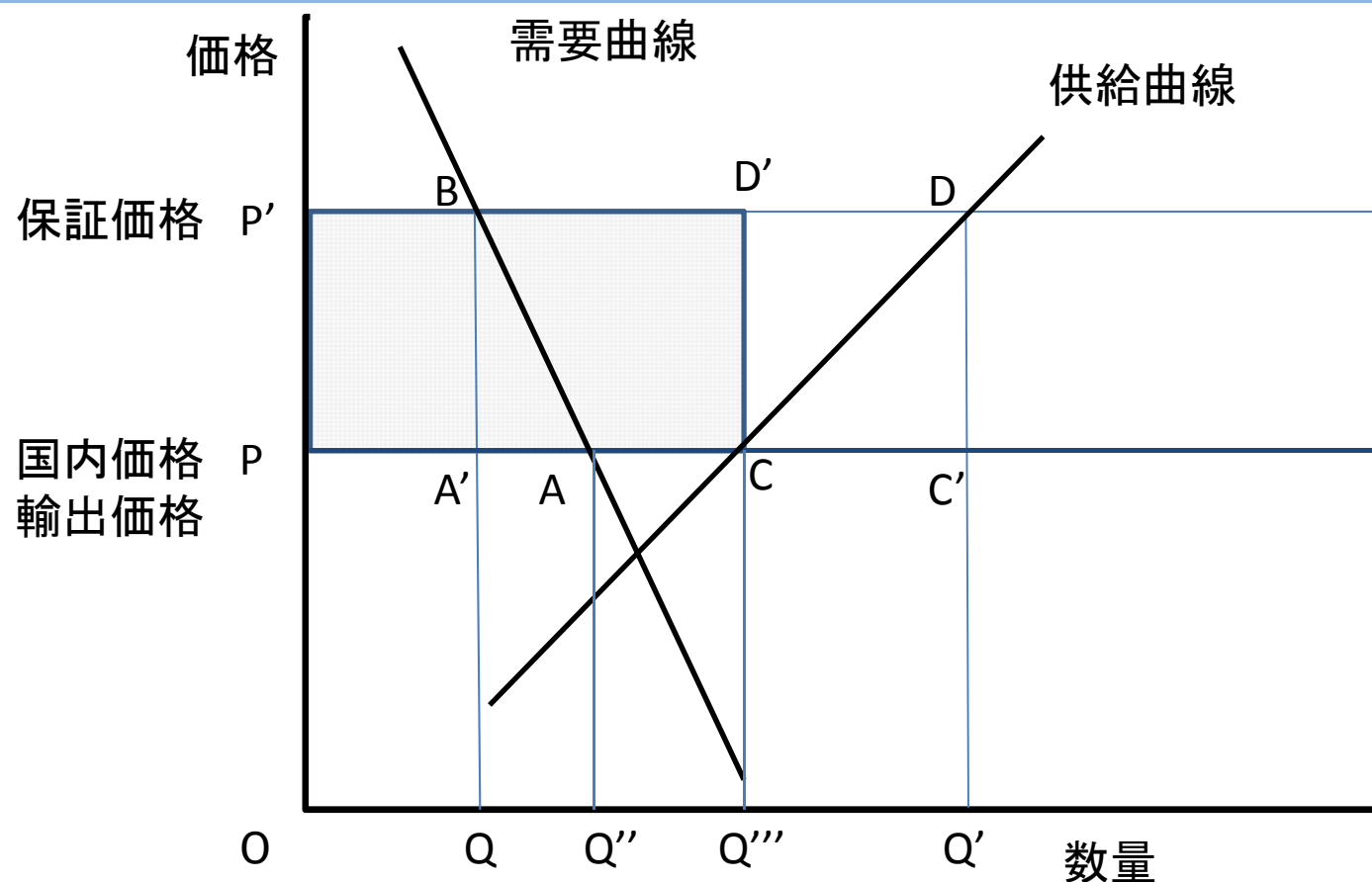
国内価格: P で不変, 輸出価格: P で不変, 輸出量: 無

生産者余剰: $PP'DC$ 増加 消費者余剰: 不変

買取支出: $OP'DQ'$ 国内販売収入: $OPAQ''$ 輸出収入: 無

dead weight loss: $\triangle CDC' + \text{五角形 } Q''ECC'Q'$ EAC : 輸出 \rightarrow 政府負担 \rightarrow

所得保証政策(上限有)



国内価格: P で不変, 輸出価格: P で不変, 輸出量: $Q''Q'''$ で不変
 生産者余剰: $PP'D'C$ 増加 消費者余剰: 不変
 政府支出: $PP'D'C$ 国内販売収入: $OPAQ''$ 輸出収入: $Q''ACQ'''$
 dead weight loss: 無

経済厚生分析の検討結果：

dead weight lossの発生

→効率性に大きな課題

輸出が制約されることによる財政負担の一層の拡大

→持続困難

輸出国での価格支持の困難性

→所得保証政策が優位

3. 5 政治経済学的解釈

農業保護(搾取)水準: 政治的限界収入と限界費用の均衡点

政治的限界収益(MR): 農民の支持(得票数)の増加

政治的限界費用(MC): 非農民の支持(得票数)の減少

経済発展に伴う変化

MR0→MR1: 農民が政策に政治的に反応するようになる
都市との格差に敏感に(教育, 交通)

農民団体の政治力が強まる

MC0→MC1: 非農民の政治的抵抗が減少

経済規模の拡大→農業保護コストの相対的縮小

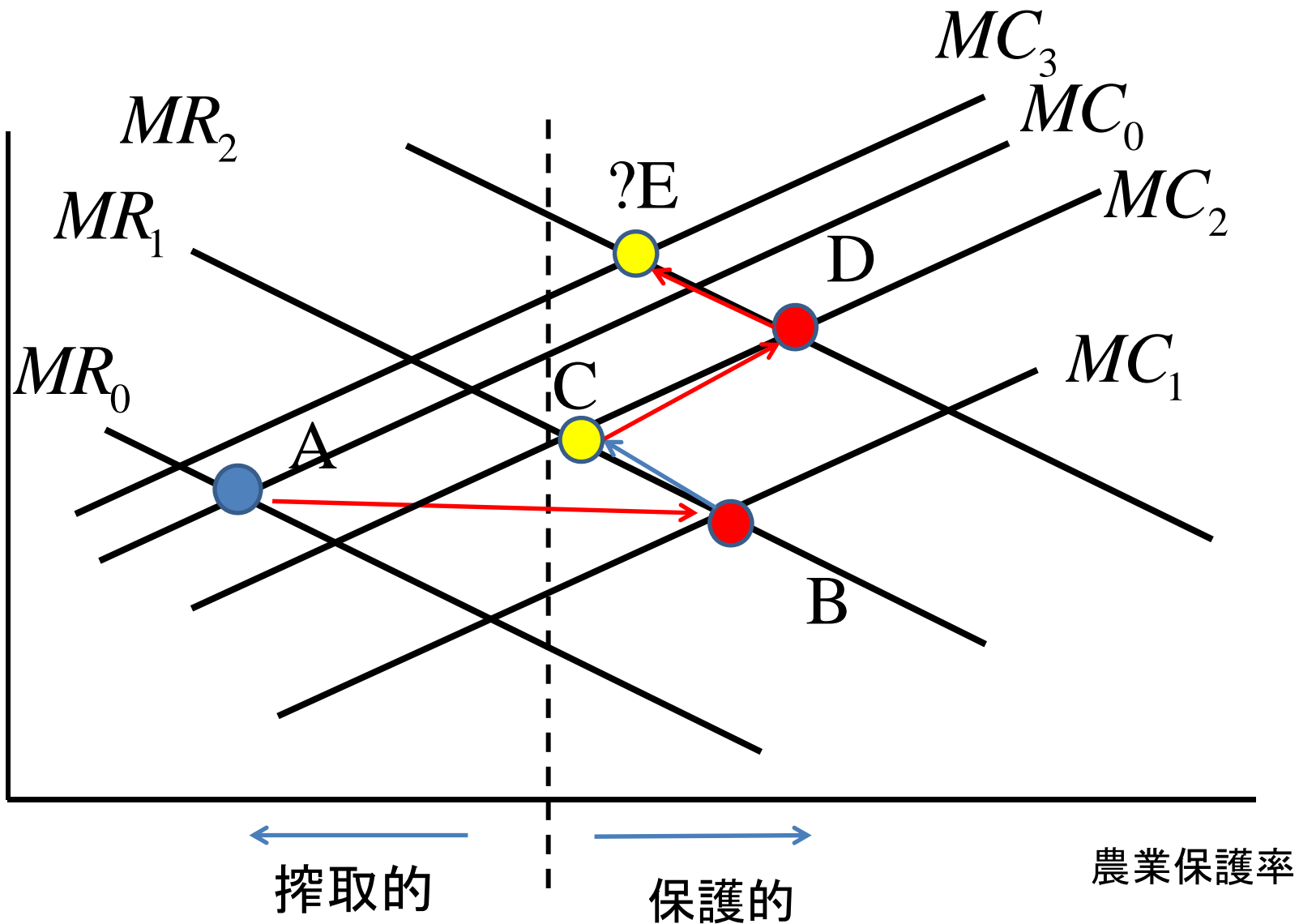
エンゲル係数の低下→消費者負担の相対的縮小

伝統や自然環境の保護への意識の高まり

タイの米政策転換の政治経済学的解釈



限界費用
限界収益



コメ政策に対するMCとMRの変化

$MC_0 \rightarrow MC_1$

: 経済成長と都市部の所得上昇,
エンゲル係数低下

$MR_0 \rightarrow MR_1$

: 1997年民主化憲法
2000年選挙タイ愛国党公約
農村政策の充実

$MC_1 \rightarrow MC_2$

: 2006年クーデター,
財政負担増加,
都市中所得層の批判

$MR_1 \rightarrow MR_2$

: 2011年総選挙タイ貢献党公約
農民の政治動員と再分配政策の拡大

$MC_1 \rightarrow MC_2$

: 2013年一担保融資制度のコストが顕
在化→ 不正批判, 財政負担巨額化



政治経済学的分析:

政策実施コストの顕在化による政治的限界費用の上昇

→保護レベルの再調整(政策の見直し)の必要性

3.6 担保融資制度を巡るその他の課題（各種報道より）



1. 政策実施過程（流通過程）における多くの不正
2. コメの生産（過剰作付，品質低下），加工・流通（非効率化），輸出（減少）システムの混乱→経済活動の縮小
3. 政府在庫の拡大→本来不要な保管コストの増大
4. 国際市場の混乱→輸出国間のシェア変化
5. WTO協定との整合性（輸出補助金？）
6. ASEANの自由貿易協定との整合性（実質的な輸入禁止）
7. 密輸の増加，政府間取引の増加（中国）

3.7 担保融資制度を巡る最近の情勢



- 2011年 8月 インラック政権発足 コメ価格支持公約の実施へ
9月 洪水被害拡大
10月 2011/12年コメ担保融資制度開始
- 2012年 6月 輸出業者が**政府備蓄の放出要請**
9月 商務省がコメ担保融資のための予算申請(4050億バーツ)取下げ, **原資は備蓄米売却, 借入で**
10月 2012/13年雨季作融資制度開始
12月 野党が国家汚職防止撲滅委員会に**政府間取引に不正と告発**
- 2013年 3月 2013年乾季作融資制度開始
商務次官が**融資価格の引下意向を表明も, 首相が否定**
精米所, コメ倉庫で火災頻発
5月 上院の特別委員会が2011/12年の制度の赤字を発表
6月 **ムーディーズがタイ国債の格付引下を警告**
首相府相が2011/12年の赤字を1368億9000バーツと認める
商務相更迭
7月 政府と農民団体が融資価格引下を基本合意
8月 ゴム, ヤシ農家のデモ拡大
10月 2013/14年担保融資開始 **雨季作は価格引き下げず**
コメ担保融資の赤字額について発言相次ぐ(副財務次官や元中央銀行総裁ら)
財務次官更迭
11月 **IMFが年次報告書で担保融資制度の中止を提言**
中国国営企業との輸出契約発表
- 2014年 1月 **BAACの資金枯渇も, 下院解散により政府からの拠出増加も困難に→選管は政府に委ねる考え表明**
融資資金供与の遅れから農民が道路封鎖も政府の支払表明を受けて, 一旦解除

4. まとめ 展望と含意



まとめ: コメ担保融資制度の多くの問題

財政負担, 非効率性(含む在庫増), 不正, 国際規律

コメ経済(生産(品質・環境)・流通・加工・輸出)へのダメージ

展望: 政策見直しの可能性は高い

→最低賃金等とのバランスが必要

⇒求められる政策

所得移転効果の有効性: 農民からの支持

透明性: 不正のない制度, 情報公開, 説明責任

公平性: 大規模層, 精米業者に利益が偏在

→小規模層, 輸出業者, 他の作目生産者の不満解消

効率性: dead weight loss が小さい

⇒前政権型の所得保証政策の優位性→政策転換の実現性は?

4. まとめ 展望と含意



タイのケースからの（他の中所得国に対する）含意：

中所得国段階では，農工間格差の拡大から農業保護の必要性が高まるが，グローバル化した経済の下では，**実施可能な政策に制約**がある。

輸出国での**価格支持**は，**国際規律**の問題や大きな**非効率性**の発生が課題となる。また政府の**市場介入**は**不正**などの問題を発生させるため，慎重に行われる必要がある。

タイでは政争の材料として農業保護水準が競われた結果，コメの**産業競争力が毀損**した。

政党は，例えば所得保証政策の小規模農家層へのメリットやゾーニングの効果など，政策内容を説得的に説明する必要がある。

(参考1) 農業経済作物ゾーニング (土地開発局資料より)



1990年代から農業経済局は13品目のゾーニングを発表

コーヒー, 綿花, ジュート, サトウキビ, パイナップル, キャッサバ, ニンニク, シャロット, タマネギ, 鶏肉, アスパラガス, コショウ, パーム油

2012年以降, 農業・協同組合省を中心に政府内で研究が進展

ゾーニングの主なインセンティブ政策

生産に関する政策: 基礎インフラ供給, 原材料の安価な供給, 低利融資,
集約的生産技術, 農業機械などの支援

高付加化と価格支援: 価格保証, 作物保険

ゾーニング政策の課題:

ボランタリーなもので強制力がない→農家は市場価格に反応

結論:

生産費を下げる効率的な経営に向けた戦略作成

ゾーニングへの農家自身の参加が必要

政策支援やインセンティブのゾーニングされた地域への集中



1. **憲法裁判所** (2007年憲法第10章第2節) :
憲法解釈審査、法律案や緊急勅令などの審査、政党解散審査、大臣、議員の資格審査等
(2008年9月首相失職、12月与党解党命令) ⇒ 司法独裁の批判

長官1名, 裁判官8名
裁判官選定委員会: 最高裁判所長官、最高行政裁判所長官、下院議長、下院野党指導者、
憲法に基づく独立機関の長の1人の5人で構成。上院で承認。
2. **選挙管理委員会** (2007年憲法第11章第1節第1項) :
担保融資のためのBAAC債務の政府保証許可 → 責任は政府に委ねる
3. **国家汚職防止取締委員会** (2007年憲法第11章第1節第3項) :
インラック首相らを担保融資制度に関する不正で捜査

監視機関の職員の多くは有力官僚層。政治家よりも官僚が実際の政治を動かしている。
赤木攻「政治の運命を握る監視機関」, NNA Asia (2013年9月19日) より

参考文献

1. 井上荘太郎(各年版),「カントリーレポート:タイ」,農林水産政策研究所。
2. 日本貿易振興機構輸出促進・農水産部農水産調査課(2008),『平成19年度 食品規制実態調査 タイの農業政策, 農業の現状と周辺国を巡る動き』,日本貿易振興機構。
3. 末廣昭(2009)『タイ 中進国の模索』,岩波新書。
4. 今泉慎也(2009)「タイ憲法裁判所の与党解散命令ー『政治の司法化』と『政治化する司法』」『アジア研ワールド・トレンド』No.164, 2009年5月号。
5. 小林弘明(2012)「第7章 タイー先進国型への転換が進むタイの食料・農業政策ー」,『平成22年度世界の食料需給の見通しに関する研究 研究報告書』,世界食料プロジェクト研究資料第3号,農林水産政策研究所
6. 重富真一,久保研介,塚田和也(2009),「アジア・コメ輸出大国と世界食料危機:タイ・ベトナム・インドの戦略」,日本貿易振興機構アジア経済研究所
7. プロマーコンサルティング(2013)「平成24年度海外農業調査事業(アジア) 第三部 タイ:コメに関する農家所得保証政策の変遷及び大洪水がタイの農業政策に与えた影響」
8. 孝忠延夫(2010)「タイ王国の憲法」,『政策創造研究』,第3号, 61-93ページ。